

教 育 総 務 課

○ 総務係関係

1 教育委員会の構成

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	岡 俊晴	令和4年4月1日 ～令和7年3月31日	
教育長 職務代理者	永井 正高	令和元年12月23日 ～令和5年12月22日	職務代理者就任 令和4年12月25日
委 員	駒田 聡子	令和2年11月1日 ～令和6年10月31日	
委 員	中西 康裕	令和2年12月23日 ～令和6年12月22日	
委 員	畑井 祐樹	令和3年12月23日 ～令和7年12月22日	
委 員	中村 文大	令和4年12月25日 ～令和8年12月24日	

2 教育委員会の会議

(1) 委員会開催状況

開 会 日 数	委員出席日数	議案及び 協議件数	処 理 状 況	
			可 決	否 決
委 員 会	12日	12日	54件	0件
協 議 会	12日	12日	—	—

(2) 委員会審議事項

第1回（令和4年4月20日）

- 学校運営協議会委員の任命について

第2回（令和4年5月19日）

- 伊勢市奨学金支給条例施行規則の一部改正について
- 伊勢市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について
- 伊勢市社会教育委員兼伊勢市立公民館運営審議会委員の委嘱について

第3回（令和4年6月9日）

- 伊勢市学校設置条例の一部改正について
- 伊勢市体育施設条例の一部改正について
- 伊勢市立学校施設の開放に関する条例の一部改正について
- 令和4年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」報告書について
- 伊勢市体育施設指定管理者選定委員会委員の委嘱について
- 図書館協議会委員の任命について

- 令和4年度教育関係補正予算（第3号）について
- 臨時（令和4年7月15日回付）
- 伊勢市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部改正について
- 第4回（令和4年7月26日）
- 奨学生の決定について
- 伊勢市学校図書館活性化支援事業業務受託者選定委員会規則の制定について
- 就学等に関する規則の一部改正について
- 伊勢市体育施設条例施行規則の一部改正について
- 伊勢市スポーツ推進審議会委員の任命について
- 第5回（令和4年8月23日）
- 奨学生の決定について
- 外国語指導助手の勤務条件等に関する規則の一部改正について
- 伊勢市立図書館規則の一部改正について
- 臨時（令和4年9月9日 臨時代理）
- 令和4年度教育関係補正予算（第4号）について
- 第6回（令和4年9月22日）
- 奨学生の決定について
- 第7回（令和4年10月19日）
- 奨学生の決定について
- 第8回（令和4年11月18日）
- 奨学生の決定について
- 伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 伊勢市北浜スポーツグラウンドの指定管理者の指定について
- 臨時（令和4年11月18日 回付）
- 職員の異動について
- 臨時（令和4年11月24日 臨時代理）
- 令和4年度教育関係補正予算（第6号）について
- 臨時（令和4年12月1日 回付）
- 令和5年度伊勢市立小中学校教職員人事異動方針について
- 第9回（令和4年12月20日）
- 奨学生の決定について
- 臨時（令和4年12月25日 回付）
- 伊勢市奨学生選考委員会委員の辞任に伴う補欠委員の委嘱について
- 第10回（令和5年1月19日）

○令和5年度学校業務員、給食調理士及び幼稚園教諭の人事異動方針について

○奨学生の決定について

臨時（令和5年1月26日 回付）

○職員の人事異動について

第11回（令和5年2月9日）

○伊勢市立幼稚園預かり保育条例の一部改正について

○伊勢市奨学金支給条例の一部改正について

○令和5年度教育関係予算について

○令和4年度教育関係補正予算（第8号）について

○奨学生の決定について

○伊勢市立小学校及び中学校教職員の自家用自動車による出張の承認に関する規則の一部改正について

臨時（令和5年3月2日 回付）

○教職員の人事異動の内申について

○教職員の人事異動の内申について

臨時（令和5年3月13日 臨時代理）

○令和4年度教育関係補正予算（第9号）について

臨時（令和5年3月20日 回付）

○職員の人事異動について

○職員の任免に関する教育委員会の意見の聴取について

第12回（令和5年3月22日）

○奨学生の決定について

○令和5年度伊勢市幼稚園・小中学校教育方針について

○伊勢市学校図書館活性化支援事業業務受託者選定委員会規則を廃止する規則の制定について

○第4次伊勢市子ども読書活動推進計画について

臨時（令和5年3月30日 回付）

○伊勢市教育委員会事務局等処務規則及び伊勢市学校給食運営委員会規則の一部改正について

○伊勢市教育委員会事務決裁規程及び伊勢市教育委員会文書管理規程の一部改正について

○伊勢市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部改正について

○伊勢市立幼稚園規則の一部改正について

○伊勢市奨学金支給条例施行規則の一部改正について

3 通学安全対策事業

道路・交通事情等により通学に危険等が生じる遠距離通学等児童生徒に対してスクールバス等を運行することで、安全な通学環境を整備した。

(1) 伊勢宮川中学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
津村町地内 ほか	伊勢市立伊勢宮川 中学校スクールバス 運行業務委託 (令和2年度～令和 4年度)	スクールバス運行業 務	円 34,987,700 【契約単価】 片道1運行あたり 津村ルート 12,540 辻久留台ルート 8,140 円座・上野ルート 15,510	2. 4. 1	5. 3. 31
〃	(注) 沼木地区自主運行 バス運行業務委託	自主運行バス運行業 務	41,914	4. 4. 1	5. 3. 31
計	2件	—	35,029,614	—	—

(注) 交通政策課に執行委任

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 二見浦小学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町地内	伊勢市立二見浦小 学校スクールバス 運行業務委託(令 和2年度～令和4年 度)	スクールバス運行業 務	円 8,338,000 【契約単価】 片道1運行あたり 今一色ルート 10,340 江ルート 1,320	2. 4. 1	5. 3. 31
〃	伊勢市立二見浦小 学校スクールバス 運行業務委託(令 和5年度～令和7年 度)	スクールバス運行業 務	199,100 【契約単価】 1日あたり Aバス (松下・江ルート) 39,490 Bバス (今一色ルート) 40,920 Cバス (茶屋ルート) 38,280	4. 10. 5	8. 3. 31

二見町 今一色地内	令和4年度旧今一色小学校解錠等委託業務	旧今一色小学校の解錠・施錠	円 243,377 【契約単価】 業務実施時間1時間あたり 1,223	4. 4. 6	5. 3. 31
計	3件	—	8,780,477	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(3) 二見中学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町光の街地内ほか	伊勢市立二見中学校スクールタクシー運行業務委託	松下地区の生徒を対象としたスクールタクシー運行業務	円 8,840	4. 11. 9	6. 3. 31

(4) みなと小学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大湊町地内	伊勢市立みなと小学校スクールバス運行業務委託(令和3年度～令和5年度)	スクールバス運行業務	円 6,024,498 【契約単価】 片道1運行あたり 4,800	3. 4. 1	6. 3. 31
小木町地内ほか	伊勢市立みなと小学校スクールタクシー運行業務委託	国道23号以南の児童を対象としたスクールタクシー運行業務	1,502,320	4. 4. 1	5. 3. 31
計	2件	—	7,526,818	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

4 幼稚園の状況

希望する小学校就学までの幼児に対して教育の機会を提供し、心身の発達の助長を図った。

園児数においては、108人(前年比-24人)、学級数においては9学級(前年比+-0学級)であった。

令和4年5月1日現在

区分 幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
小 俣	人 23	人 24	人 28	人 75
明 野	10	16	7	33
計	33	40	35	108

5 処遇改善臨時特例事業

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く、幼稚園教諭の処遇の改善のため、賃金を引き上げることを目的として、私立幼稚園に必要な経費を補助した。

○ 学校給食係関係

1 完全給食校及び給食延べ人数

(1) 単独自校調理方式（小学校22校）

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
進 修 小 学 校	30,340 人	宮 山 小 学 校	47,616 人	上 野 小 学 校	16,465 人
修 道 〃	67,710	浜 郷 〃	49,025	小 俣 〃	128,020
有 緝 〃	88,245	四 郷 〃	23,495	明 野 〃	136,715
早 修 〃	19,980	豊 浜 東 〃	9,990	御 菌 〃	72,150
中 島 〃	47,360	豊 浜 西 〃	24,975	二 見 浦 〃	69,378
明 倫 〃	52,725	北 浜 〃	15,725	み な と 〃	54,205
厚 生 〃	55,130	東 大 淀 〃	13,135	計	1,089,354
佐 八 〃	11,655	城 田 〃	55,315		

(2) 共同調理場方式（中学校10校）

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
倉 田 山 中 学 校	78,120 人	五 十 鈴 中 学 校	58,320 人	伊 勢 宮 川 中 学 校	39,600 人
厚 生 〃	80,640	二 見 〃	37,260	桜 浜 〃	44,652
港 〃	41,400	小 俣 〃	118,030	計	558,610
城 田 〃	29,808	御 菌 〃	30,780		

2 給食費及び給食回数

区 分		給食費（児童・生徒1人当たり）		給食回数
完全 給食	小学校	低学年 (1年～3年)	月額 4,300円(4～7、9～2月分) 4,360円(3月分)	年額 47,360円
		高学年 (4年～6年)	月額 4,400円(4～7、9～2月分) 4,470円(3月分)	
	中学校	月額 4,800円(4～7、9～2月分) 4,740円(3月分)	年額 52,740円	180回

3 献立について

文部科学省の学校給食摂取基準に基づき、主食は米飯週4回、パン週1回とし、児童生徒の嗜好も考慮した献立を作成した。本年度も地産地消の推進に伴い、単独自校調理方式の学校はA・Bグループを残した状態で、統一献立とした。共同調理場方式の学校についても地産地消の推進に伴い、単独自校調理方式の学校とは別献立とし、給食を実施した。

単独自校調理方式

- ・ Aグループ（進修小・修道小・中島小・厚生小・浜郷小・四郷小・豊浜東小・東大淀小・城田小・御菌小・二見浦小・みなと小）
- ・ Bグループ（有緝小・早修小・明倫小・佐八小・宮山小・豊浜西小・北浜小・上野小・小俣小・明野小）

共同調理場方式（倉田山中・厚生中・港中・城田中・五十鈴中・二見中・小俣中・御菌中・伊勢宮川中・桜浜中）

4 学校給食施設の整備

老朽化に伴う買い替え及び衛生管理上必要な備品の新規購入

品名	納品校及びメーカー・規格等	金額
真空冷却機	修道小学校 三浦工業(株) CMJ-20QE-S	2,849,000 円
食器消毒保管機(電気式)	小俣小学校 (株) AiHO EW-2504N	1,353,000
食器消毒保管機(電気式)	御菌小学校 (株) AiHO EW-3004N	1,408,000
食器消毒保管機(電気式)	豊浜西小学校 タニコー(株) NHE-20BW	657,800
ガス回転釜	厚生小学校 服部工業(株) GHS-32A	402,600
ガス回転釜	佐八小学校 服部工業(株) GHS-30A	356,950
ガス回転釜	浜郷小学校 服部工業(株) GHS-32A	383,350
食器消毒保管機(電気式)	東大淀小学校 ホシザキ(株) HSB-15SB3	416,900
牛乳保冷库	城田小学校 ホシザキ(株) MR-90CA	270,600
ガス給湯器	浜郷小学校 リンナイ(株) RUXC-A3200W	221,800
計	10件	8,320,000

5 中学校給食施設管理経費

伊勢市中学校給食共同調理場運営のための業務委託を実施した。

委託名	委託業者	委託金額	着手	完了
伊勢市中学校給食共同調理場 調理等業務委託	伊勢料理納入協同組合	33,105,600 円 (全体契約額 492,671,520)	29. 8. 1	4. 7. 31
伊勢市中学校給食配送業務委託	株式会社 シント物流	9,020,000 (全体契約額 134,234,000)	29. 8. 1	4. 7. 31
伊勢市中学校給食共同調理場 警備業務委託	三重総合警備保障 株式会社	277,200 (全体契約額 1,378,440)	30. 4. 1	5. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場 電気保安管理業務委託	一般財団法人 中部電気 保安協会 伊勢営業所	608,520 (全体契約額 1,825,560)	2. 4. 1	5. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場 ボイラー・ストレージタンク 保守点検整備業務委託	杉山設備 株式会社	1,012,000	4. 4. 1	5. 3. 31

伊勢市中学校給食共同調理場 除害施設維持管理業務委託	有限責任事業組合 春 明舎	円 2,222,000	4. 4. 1	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 除害施設汚泥処理業務委託	株式会社 ミヤテック	5,101,470	4. 4. 1	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 除害施設汚泥収集運搬業務委 託	東洋プラント 株式会 社	1,689,147	4. 4. 1	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 可燃ごみ等収集運搬業務委託	中南勢清掃 有限会社	624,230	4. 4. 1	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 生ごみ処理機維持管理業務委 託	菱田建材 株式会社	550,000	4. 4. 1	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 芝生・植木管理業務委託	森田造園 有限会社	1,125,300	4. 4.27	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 消防設備点検業務委託	セッツ設備	99,000	4. 5.23	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 清掃業務委託	株式会社 三重フジミ	1,100,000	4. 6. 1	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 空調設備保守点検業務委託	株式会社 サンシン	1,188,000	4. 6. 1	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 ばいじん量測定業務委託	株式会社 中部環境技術 センター	123,200	4. 6. 2	5. 3.31
伊勢市中学校給食共同調理場 調理機器等点検業務委託	株式会社 三重特機	1,793,000	4. 6. 8	4. 8.19
伊勢市中学校給食共同調理場 冷凍・冷蔵庫保守点検業務委 託	ホシザキ東海 株式会 社 伊勢営業所	99,000	4. 7.28	4. 7.28
伊勢市中学校給食共同調理場 調理等業務委託	伊勢料理納入協同組合	70,611,200 (全体契約額 529,584,000)	4. 8. 1	9. 7.31
伊勢市中学校給食配送業務委 託	株式会社 シント物流	17,600,000 (全体契約額 132,000,000)	4. 8. 1	9. 7.31
伊勢市中学校給食共同調理場 受水槽清掃業務委託	有限会社 南部塗料	49,680	4. 8. 2	4. 8. 2
共同調理場 I N S 回線増設 業務委託	西日本電信電話株式会 社 三重支店	2,200	5. 1.12	5. 2.20
共同調理場 電話回線増設収 容工事に係る業務委託	有限会社 伊勢ネット ワーク	90,200	5. 1.12	5. 2.20
計	22件	148,090,947	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

○ 物価高騰対策関係

1 私立幼稚園安定運営支援事業

原油・物価高騰による私立幼稚園の負担増加に対して一部を助成し、施設運営における負担軽減を図ることにより、安定的な教育・保育の提供に繋げた。

2 幼稚園食材費負担軽減事業

原油価格・物価高騰の影響を受けている私立幼稚園の給食等食材費の一部を市が支援をすることで、給食費への転嫁を防ぎ、保護者の経済的負担の軽減を図った。

また、公立幼稚園の昼食費（配食サービス）の増額分について市が負担することで保護者の経済的負担の軽減を図った。

3 学校給食用食材費負担軽減事業

原油価格・物価高騰の影響を受けている学校給食用食材費の一部を市が負担することで、保護者の経済的負担の軽減を図った。

学 校 施 設 整 備 課

○ 整備統合推進係関係

1 小中学校適正規模化・適正配置推進事業

(1) 事業の目的

学校の小規模化による課題を解消し、本市の子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな人間性と健やかな体の育成といった「生きる力」を育むことができる、より望ましい教育環境の構築と、教育の質の充実を図ることを目的とする。

(2) 事業の推進

ア 説明会等の開催

第1期対象校の保護者や地域住民に、事業の進捗状況について説明等を行った。

2 二見地区小中学校整備事業

(1) 令和5年4月移転に向け、新校舎完成に伴い、下記のとおりふたみ保育園と合同で完成式を開催し、午後からは一般見学会を行った。

式 名	日 時	場 所
二見浦小学校・二見中学校及びふたみ保育園完成式	3月19日（日）9時30分～	体育館

(2) 二見浦小学校及び二見中学校の移転整備のため、次の事業を実施した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
二見町 光の街 地内	(注) 二見浦小学校・二見中学校建設工事監理業務委託(一般)	監理業務(一般)一式	円 12,496,000 【契約額】 12,496,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 12,496,000	3. 7. 16	5. 1. 26
〃	(注) 二見浦小学校・二見中学校建設工事監理業務委託(重点)	監理業務(重点)一式	48,510,000 【契約額】 48,510,000 [令和3年度] 0 [令和4年度] 48,510,000	3. 7. 16	5. 1. 26
計	2件	—	61,006,000	—	—

(注) 営繕課施行、令和3年度・4年度継続費

※合計は、各行の最上段を合算

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町の街内	(注1) 二見浦小学校・二見中学校建設工事(校舎棟 建築工事)	校舎棟 鉄筋コンクリート造 3階建 延べ面積 6,365.41m ² 部活動倉庫棟 鉄筋コンクリート造 平屋建 延べ面積 99.54m ² 体育倉庫棟 鉄骨造平屋建 延べ面積 133.00m ² 建築工事 一式	円 1,387,800,000 【契約額】 1,537,800,000 [令和3年度] 150,000,000 [令和4年度] 1,387,800,000	3. 7. 7	5. 1. 6
〃	(注1) 二見浦小学校・二見中学校建設工事(校舎棟 電気設備工事)	電気設備工事一式	248,250,000 【契約額】 286,000,000 [令和3年度] 37,750,000 [令和4年度] 248,250,000	3. 7. 7	5. 1. 6
〃	(注1) 二見浦小学校・二見中学校建設工事(校舎棟 機械設備工事)	機械設備工事一式	297,948,100 【契約額】 343,608,100 [令和3年度] 45,660,000 [令和4年度] 297,948,100	3. 7. 7	5. 1. 6
〃	(注1) 二見浦小学校・二見中学校建設工事(屋内運動場棟 建築工事)	鉄筋コンクリート造 3階建 延べ面積 3,274.33m ² 建築工事 一式	632,550,000 【契約額】 788,700,000 [令和3年度] 156,150,000 [令和4年度] 632,550,000	3. 7. 7	5. 1. 6
〃	(注1) 二見浦小学校・二見中学校建設工事(屋内運動場棟 機械設備工事)	機械設備工事一式	170,910,000 【契約額】 196,900,000 [令和3年度] 25,990,000 [令和4年度] 170,910,000	3. 7. 7	5. 1. 6

二見町の街内	(注1) 二見浦小学校・二見中学校建設工事(屋内運動場棟電気設備工事)	電気設備工事一式	円 56,340,000 【契約額】 64,900,000 [令和3年度] 8,560,000 [令和4年度] 56,340,000	3. 7. 16	5. 1. 6
〃	(注2) 二見浦小学校・二見中学校建設工事グラウンド整備工事	側溝工 79m 管渠工 100m 集水桝工 6か所 プレキャスト擁壁工 58m 現場打擁壁工 4か所 柵工 204m 付帯工 一式	68,693,900	4. 7. 1	5. 2. 28
〃	(注2) 二見浦小学校・二見中学校建設工事グラウンド舗装工事	グラウンド・コート舗装工 13,959㎡ 競技施設工 一式	80,358,300	4. 7. 15	5. 2. 28
計	8件	—	2,942,850,300	—	—

(注1) 営繕課施行、令和3年度・4年度継続費

(注2) 基盤整備課施行

※合計は、各行の最上段を合算

○ 維持管理係関係

1 小学校管理事業

小学校施設の維持管理に必要な自動火災報知機、エレベーター、遊具等の保守点検業務、受水槽及び高置水槽等の清掃業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備のため、次の事業を実施した。

工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町明野地内	明野小学校第2職員室空調機設置工事	空調設置一式	円 1,210,000	4. 4. 13	4. 5. 24
久世戸町地内	修道小学校プール塗装修繕工事	プール塗装修繕一式	1,287,000	4. 5. 23	4. 6. 13

岡本1丁目地	(注1) 明倫小学校校舎昇降口周辺外壁修繕工事	外壁修繕一式	円 4,086,500	4. 5. 30	4. 7. 28
楠部町内 地	(注2) 四郷小学校グラウンド改修工事	スクリーニング工事 5,000㎡ 側溝工 70m 集水柵工 4基	24,317,700	4. 6. 13	4. 10. 14
上野町内 地	上野小学校校舎屋外階段修繕工事	校舎屋外階段修繕一式	1,584,000	4. 6. 13	4. 7. 22
一志町内 地	(注1) 厚生小学校屋内運動場照明改修工事	照明設備改修一式	4,363,700	4. 6. 24	4. 9. 26
上地町内 地	(注1) 城田小学校屋内運動場照明改修工事	照明設備改修一式	5,094,100	4. 6. 24	4. 9. 30
楠部町内 地	(注1) 四郷小学校屋内運動場照明改修工事	照明設備改修一式	4,732,200	4. 6. 24	4. 9. 26
上野町内 地	(注1) 上野小学校屋内運動場照明改修工事	照明設備改修一式	4,720,100	4. 6. 24	4. 9. 30
〃	上野小学校北側法面修繕工事	法面修繕一式	1,199,000	4. 6. 24	4. 7. 22
旭地町内	(注1) 宮山小学校屋内運動場屋根等改修工事	屋根及び天井改修一式	17,600,000	4. 7. 1	4. 9. 21
小俣町明野地	(注1) 明野小学校多目的教室ほか改修工事	建築改修一式	11,156,200	4. 7. 8	4. 10. 5
宇治浦田2丁目地内	(注1) 進修小学校トイレ改修工事	トイレ改修一式	2,970,000	4. 7. 8	4. 9. 20
黒瀬町内 地	浜郷小学校給食室空調機取替工事	空調機取替一式	1,246,300	4. 8. 17	4. 9. 30
久世戸町内 地	(注1) 修道小学校プール改修工事	プールサイドシート改修一式	4,299,900	4. 10. 21	4. 12. 19
上地町内 地	(注1) 城田小学校消火栓ポンプ更新工事	消火栓ポンプ更新一式	2,560,800	4. 11. 4	5. 3. 13

楠部町内 地	(注1) 四郷小学校消火配 管改修工事	消火配管改修一式	円 6,438,300	4.11.25	5.3.15
西豊浜町内 地	(注1) 豊浜西小学校校舎 給食室屋根防水改 修工事	防水改修一式	2,061,400	5.1.27	5.3.6
小俣町元町内 地	小俣小学校校舎3 階トイレ壁修繕工 事	トイレ壁修繕一式	1,290,300	5.2.24	5.3.24
久世戸町内 地	(注1) 修道小学校給水配 管改修工事	給水配管改修一式	1,684,100	5.2.24	5.3.24
計	20件	—	103,901,600	—	—

(注1) 営繕課施行

(注2) 都市計画課施行

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を258件実施した。

2 中学校管理事業

中学校施設の維持管理に必要な自動火災報知機、エレベーター、体育用具等の保守点検業務、受水槽及び高置水槽の清掃業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備のため、次の事業を実施した。

工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二俣4丁目 地内	(注1) 伊勢宮川中学校テ ニスコート付近雨 水対策工事	水路 354m 暗渠排水管 371m 集水桝 13か所 透水性舗装 451㎡ テニスコート整備 一式	円 27,167,500 【契約額】 41,827,500 [令和3年度] 14,660,000 [令和4年度] 27,167,500	4.2.4	4.7.28
竹ヶ鼻町内 地	(注2) 港中学校屋内運動 場照明改修工事	照明設備改修一式	5,973,000	4.7.1	4.9.12
磯地町内	(注2) 御菌中学校屋内運 動場照明改修工事	照明設備改修一式	12,045,000	4.7.8	4.9.26
栗野町内 地	(注2) 城田中学校駐輪場 増設工事	建築工事一式	1,843,600	4.7.8	4.9.15

小俣町相合地内	(注3) 小俣中学校西門周辺改修工事	フェンス工 車止め工	24m 6基	円 1,265,000	4. 7. 29	4. 9. 16
二見町荘地内	(注4) 二見中学校南面擁壁改修工事	擁壁工	32㎡	1,287,000	4. 11. 8	5. 1. 16
小俣町相合地内	(注2) 小俣中学校多目的トイレ改修工事	トイレ改修一式		4,580,400	4. 12. 2	5. 3. 3
竹ヶ鼻町地内	港中学校高架水槽廻り配管更新工事	配管更新一式		1,155,000	5. 3. 1	5. 3. 30
計	8件	—		55,316,500	—	—

(注1) 農林水産課施行、令和3年度から一部繰越

(注2) 営繕課施行

(注3) 基盤整備課施行

(注4) 上水道課施行

※合計は、各行の最上段を合算

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を105件実施した。

3 幼稚園管理事業

幼稚園施設の維持管理に必要な自動火災報知機、遊具等の保守点検業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等のため、次の事業を実施した。

工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町本町地内	小俣幼稚園ブランコ改修工事	ブランコ・安全柵改修一式	円 1,287,000	5. 1. 10	5. 3. 27

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を3件実施した。

学 校 教 育 課

○ 学校教育関係

1 児童生徒数及び学級数（令和4年5月1日現在）

児童生徒数においては、小学校で5,875人(前年比-139人)、中学校で3,054人(前年比-52人)、学級数においては、小学校で290学級(前年比+2学級)、中学校で119学級(前年比-2学級)であった。

小学校児童数の最多は明野小の739人で、最少は豊浜東小の54人であり、学級数の最多は明野小の32学級、最少は佐八小、豊浜東小の6学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は9校、19学級以上は4校、11学級以下は9校であった。

中学校生徒数の最多は小俣中の640人で、最少は城田中の159人であり、学級数の最多は小俣中の22学級で最少は御藪中の7学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は3校、19学級以上は1校、11学級以下は6校であった。

(1) 小学校

令和4年5月1日現在

区分 学校名	児 童 数	学 級 数			区分 学校名	児 童 数	学 級 数		
		通 常	特別支援	計			通 常	特別支援	計
進 修	人 162	学級 6	学級 1	学級 7	豊浜東	人 54	学級 5	学級 1	学級 6
修 道	364	12	3	15	豊浜西	136	6	1	7
有 緝	478	17	3	20	北 浜	86	6	1	7
早 修	108	6	1	7	東大淀	73	6	1	7
中 島	253	11	1	12	城 田	297	12	2	14
明 倫	282	12	2	14	上 野	90	6	1	7
厚 生	300	12	3	15	小 俣	686	23	7	30
佐 八	62	5	1	6	明 野	739	27	5	32
宮 山	257	12	1	13	御 藪	385	15	4	19
浜 郷	268	12	2	14	二見浦	374	13	3	16
四 郷	124	6	2	8	みなと	297	12	2	14
					計	5,875	242	48	290

(2) 中学校

令和4年5月1日現在

区分 学校名	生 徒 数	学 級 数		
		通 常	特別支援	計
倉田山	人 441	学級 15	学級 1	学級 16
厚 生	442	14	4	18
港	221	7	2	9
城 田	159	6	2	8
五十鈴	319	10	2	12

二見	人	学級	学級	学級
	207	7	1	8
小俣	640	20	2	22
御菌	168	6	1	7
伊勢宮川	218	8	1	9
桜浜	239	9	1	10
計	3,054	102	17	119

2 学校の指定

「伊勢市立の小学校及び中学校の就学すべき学校の指定に関する規則」に基づき、入学する小学校、中学校を指定した。

(1) 就学指定校変更許可基準

地理的条件・留守家庭・住居建築中・転居予定・途中転居・健康上の理由・教育上の配慮・特殊事情

(2) 児童・生徒の異動（令和5年3月31日現在）

区分	令和4年4月 入学者	令和5年3月 卒業生	途中転入等	途中転出等
小学校	898人	1,018人	71人	92人
中学校	988	1,097	14	8
計	1,886	2,115	85	100

3 教職員等（令和4年5月1日現在）

(1) 教職員数

教員（基準＋加配）は小学校333人、中学校は189人。小学校にのべ51人で455時間分、中学校にのべ22人で172時間分の非常勤講師が県から配置され、少人数指導などに活用した。

(2) スクールカウンセラー

スクールカウンセラーは、県から全小中学校に配置され、あわせて市からも小俣小、明野小、小俣中、厚生中に派遣し、児童生徒・教職員及び保護者のカウンセリングを行った。

4 学校行事の概要（令和4年度）

儀式的行事、学芸的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事などを行い、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行った。

実施月日	行事	実施月日	行事
4/6, 7, 8	小中学校始業式・入学式	10月～11月	小学校修学旅行22校 (1泊2日)
4/11	幼稚園入園式	10/7～10/14	前期終業式
5月下旬～6月	中学校修学旅行 5校 (2泊3日)	10/10～10/17	後期始業式

4月～5月	小中学校遠足・社会見学	10/14～10/23	科学創作展 オンライン開催
5月～6月	小学校運動会 12校	10月～12月	小中学校文化祭・作品展
5月～6月	中学校体育祭 6校	1/23～2/5	教育美術展 オンライン開催
9月～10月	中学校修学旅行 5校 (2泊3日または1泊2日)	3/7	中学校卒業式
9月～11月	小学校運動会(体育発表会等 を含む) 10校	3/17	小学校卒業式
9月	中学校運動会 4校	3/22	幼稚園卒園式
9月～11月	小中学校遠足・社会見学	3/17～3/24	小中学校修了式

5 主な事業

(1) 学校教育支援事業

地域人材や学生を、学習支援員・看護師・教育支援ボランティア・学校安全ボランティアとして活用することで、学習環境の整備に努め、個に応じたきめ細かな支援や指導を行い、特別支援教育の充実や確かな学力の定着、安全で安心な教育環境づくりに取り組むことができた。

ア 特別支援教育の充実のため、市雇用で特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行う学習支援員や医療的ケアを行う看護師を配置し、個に応じたきめ細かな教育体制づくりを推進した。

イ 教育支援ボランティアを配置し、児童生徒の学習支援や日本語の指導、図書館運営、部活動などの支援を行い、教育活動の充実を図った。

ウ 地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の見守りを行い、子どもたちの安全確保を図った。

配置及び活動状況

学習支援員・看護師（令和5年3月31日現在）

小学校19校 61人（うち看護師4人）

中学校7校 11人

教育支援・学校安全ボランティア

登録者数（令和5年3月31日現在）

・教育支援 121人

・学校安全 622人（小学校22校：各校区で随時活動）

教育支援ボランティア活動数（令和5年3月31日現在）

・活動人数 113人（学習支援58人、部活動支援27人、学校図書館支援13人、日本語支援6人、保育活動補助5人、養護教諭・栄養教諭の支援2人、心の支援2人）

・活動回数 3,331回（令和4年4月～令和5年3月）

（2）豊かな心を育む体験交流活動推進事業

自然や環境、伝統文化、福祉やボランティア等に関する体験学習など、創意工夫を生かした学習活動を通して、児童生徒が自然を大切にする心や他を思いやる優しさ等、豊かな心を育むことを目的とする取組を支援した。

また、幼稚園において地域の人とのふれあいを通じた体験を行うことで、地域のよさや愛着を感じることができるよう支援した。

ア 「社会参画力向上推進事業委託」の実施

自然や環境、文化や福祉、ボランティア等に関する体験学習の実施、また、地域の方とのふれあいを通じた体験活動の実施をする事業推進校（園）を指定して取り組んだ。

イ 「きらり自然体験活動推進事業委託」の実施

校外での自然体験活動、または、学校へ講師を招聘しての自然体験活動・環境学習等を実施する事業推進校（園）を指定して取り組んだ。

ウ ふれる・つくる・かんじる自然体験プログラム

学校教育課が計画した自然体験プログラムを小学校9校で実施し、児童が自然や環境に興味関心をもち、学習する機会とした。

エ いのちの学習の実施

中学生が、思春期保健相談士等からいのちについての講話等を聞くことで、小さな子どもや家庭について知り、他者への関心を持ち、共感能力を高める機会とした。

（3）未来へチャレンジ！職場体験推進事業

キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の予防のため、例年のように実施できなかった。しかし、地元企業団体で作るビジネスパーク伊勢のメンバーを招き、対面にて講演を聞いたり体験をしたりすることで、生徒たちは地元企業の仕事について、考えることができた。また鳥羽市の旅館へ出向き職場体験をしたり、講師を招聘または東京とオンラインでつなげ、体験談を聞く機会を設けたりした。そして、生徒が職業インタビューをして個人新聞を作り冊子の作成をする取組など、各校で工夫し実施をした。

（4）学力向上推進事業

目標基準準拠検査（CRT）を市立全小中学校で実施し、検査結果から児童生徒の学習到達度を明らかにし指導に生かすとともに、学力向上推進に係る実践的研究を展開した。

目標基準準拠検査は、小学校2・3年生を対象に国語・算数、小学校4～6年生を対象に国語・社会・算数・理科、中学校1年生対象に国語・社会・数学・理科、中学校2年生対象に国語・社会・数学・理科・英語を実施し、結果を分析し、指導に生かした。

また、小学校1年生については、伊勢市教育委員会作成の学力調査（国語・算数）を実施

し、結果を分析することで授業改善及び個に応じたきめ細かい指導に生かすことができた。

さらに、「教育課程一般に係る実践研究」については4校（小学校3校、中学校1校）を指定し、課題解決に向けた計画的・継続的な授業改善に係る実践研究を行った。

学 校 名	研 究 内 容
北浜小学校	教育課程一般に係る実践研究
小俣小学校	教育課程一般に係る実践研究
みなと小学校	教育課程一般に係る実践研究
御菌中学校	教育課程一般に係る実践研究

（5）広島平和記念式典への参加

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から広島平和記念式典への参加派遣を中止した。例年は、非核・平和推進事業の一環として、市立各中学校代表20人及び教諭2人、指導主事3人を8月6日に広島市で開催される平和記念式典に派遣しており、生徒は戦争の悲惨さと核兵器の廃絶を実現することの大切さとともに、平和の尊さを学び、その学びを「中学生ピースメッセンジャー」として各校の生徒や広く市民の方々に還流報告している。令和3・4年度はその代替えとして「中学生ピースメッセンジャー広島平和事業」を実施し、広島とオンラインで繋いだ被爆証言講話の受講、ならびに代表生徒が平和について意見交流をする「伊勢市中学生平和サミット」を行った。本事業を通して、各中学校からの代表生徒が平和や命の尊さについて学び、考え、そこで感じたことや学んだことを各校で還流報告し、平和学習を深めるとともに、広報やZTVの放送、感想文集の発行と伊勢市ホームページへの生徒感想文の掲載、市内5カ所におけるパネル展示を行い、広く市民の方々にピースメッセンジャーとして平和の尊さを発信した。また、各校における継続した取組として、恒久平和を祈願し全校生徒で作製した千羽鶴を広島市へ献納する活動も続けている。

（6）いじめ防止対策推進事業

ア いじめ防止等に資する対策を総合的かつ効果的に進めるため、各学校に「伊勢市いじめ防止基本方針」の周知を図った。

また、伊勢市のいじめ問題対策を充実させていくこと、市内の関係機関団体の連携を図っていくこと、重大事態への対処の体制を充実させていくために、各校に「伊勢市いじめ防止対策推進法施行条例」の周知を図り、「伊勢市いじめ問題対策連絡協議会」「伊勢市いじめ問題対策委員会」を設置して、いじめの未然防止と早期発見、いじめが起きた際の対処を迅速に行えるようにした。

- ・いじめ問題対策連絡協議会 2回開催

（第1回：令和4年6月15日、第2回：令和5年2月2日）

- ・いじめ問題対策委員会 2回開催

（第1回：令和4年9月8日、第2回：令和5年2月9日）

イ 伊勢市における新規不登校児童生徒の抑制へ向け、全中学校区で早期把握・早期対応の取組を行うとともに魅力ある学校づくりを進めた。

(7) エンジョイイングリッシュ事業

ア 小学生ちよこっと英語体験

小学校において、学習指導要領で求められている外国語によるコミュニケーション能力の素地や基礎を養うために、ALT（外国語指導助手）との交流を楽しむことができる活動を夏季休業中に行った。

期 日	場 所	内 容	参加人数
4. 7. 25	三重県営体育館	エンジョイ スポーツ！！	7人
4. 8. 3	小俣公民館	外国の遊びにチャレンジ!!	14人
4. 8. 8	いせトピア	外国の遊びにチャレンジ!!	14人
4. 8. 24	三重県営体育館	エンジョイ スポーツ！！	19人

イ 中学生英語スピーチコンテスト

日々の授業における成果を発表する場の1つとしてスピーチコンテストを小俣図書館のホールにて開催をした。(令和4年8月19日 19人参加)

ウ 英語検定チャレンジ事業

英語学習への関心意欲を高める機会のひとつとして、英語検定にチャレンジする児童生徒を増やしていくために、英語検定料の補助や準会場の設置を行った。

令和4年度英語検定チャレンジ事業

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	計
第1回	人 0	人 1	人 6	人 31	人 100	人 78	人 13	人 229
第2回	0	3	5	48	139	83	30	308
第3回	0	1	4	27	74	101	99	306
計	0	5	15	106	313	262	142	843

エ 小学校外国語活動研究指定（明倫小学校）

ALT（市直接雇用）2人を配置し、外国語活動の授業の充実に向けた研究を行う学校を1校指定した。研究校では、昼休みに4年生以上の児童を対象にしたALTによるイングリッシュタイムを実施したり、低学年でも定期的にALTと共に学ぶ授業を実施したりして充実を図った。また、たくさんの小中学校の教員が授業を見て学べるよう、オンラインにて2回の授業公開をした。

オ わくわくどきどきキッズイングリッシュ

就学前教育保育施設にALTを派遣した。英語の歌やゲームを通して、園児が異なる文化に親しむことができた。

(8) ALT活動事業

英語を母語とする、またはそれに等しい環境で英語を身に付けた人材を雇用し、小中学校の担当教員が行う授業の補助を行った。授業における会話等をALTと練習することで、児童生徒が生きた英語に触れることができた。また、休み時間や放課後のふれあいを通じて英語力やコミュニケーション能力の育成に努めた。地域との交流として、市立図書館での読み聞かせも定期的に行うなど、伊勢市の国際理解教育の促進に努めた。

(9) 学校図書館活性化支援事業

学校における学校図書館の読書センター・学習センター・情報センターとしての機能の強化を図るとともに、授業において学校図書館を活用したり、児童生徒の知的好奇心や読書要求を満たしたりするために、市立全小中学校32校に学校図書館スタッフを配置し、児童生徒の学習意欲を高め、学習環境を整える支援を行った。また、学校図書館システムを全校統一することで業務をスムーズに行えるようになり、全館検索を行うことで情報センターや読書センターとしての機能の活性化を図った。

(10) 読書大好キッズプロジェクト事業

学校図書館にスタッフを配置する学校図書館活性化支援事業と連携し、読書ツアーの本を紹介するコーナーを設置したり、読み聞かせを行ったり、児童生徒にとって図書館が身近になり、本が大好きになるような取組を行った。小学1年生から3年生は伊勢市オリジナルブックリスト「読書ツアー（低学年用）」に取り組み、小学4年生から6年生は電子版「読書ツアー（高学年用）」の利用を開始し取り組んだ。子どもたちが、楽しみながら本を読み、読書の幅を広げることで、読書習慣の定着をめざした。

(11) 学校評議員設置事業

校長は、学校運営に関しての助言や地域の情報を学校評議員から得て、学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。（学校評議員は、有識者・保護者・地域住民から校長が推薦し教育委員会から委嘱する。）

(令和5年3月31日現在)

区分	保護者代表 (PTA役員含む)	地域代表 (学校所在地近辺の 自治会長等)	有識者等	計
小学校	14人	58人	18人	90人
中学校	7	22	9	38

(12) 学校教材整備

各校の実態に応じた教材の整備を進め、教育環境の充実に努めた。また、学校図書館が、その機能を十分に発揮できるよう図書等の充実に努めた。加えて、理科教育のために理科教育振興法に基づく理科教材及び特別支援学級に対する備品を整備し、学習環境の充実に努めた。

区 分	教 材 整 備 経 費			学校図書館 充実経費	計
	一般教材 備 品	理科教育振興 法に基づく 理科教材備品	特別支援教育 設備整備		
小学校	円 11,893,425	円 159,170	円 302,694	円 8,185,860	円 20,541,149
中学校	7,913,846	1,592,250	175,772	6,350,432	16,032,300
計	19,807,271	1,751,420	478,466	14,536,292	36,573,449

(13) 就学援助制度事業

経済的理由により就学困難な児童生徒がいる家庭に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を助成した。なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定児童生徒から、入学前の3月に支給している。

区分	小学校			中学校		
	費 目	支給人数 (人)	支給額(円)	費 目	支給人数 (人)	支給額(円)
要保護	修学旅行費	2	31,464	修学旅行費	1	49,940
	医 療 費	0	0	医 療 費	0	0
	小 計		31,464	小 計		49,940
準要保護 (通常)	修学旅行費	137	2,045,786	修学旅行費	166	8,113,184
	学用品費等	851	13,667,220	学用品費等	466	13,243,340
	医 療 費	0	0	医 療 費	0	0
	給 食 費	849	37,662,041	給 食 費	465	22,944,887
	令和5年度 新入学学用品費 (入学前支給)	130	7,027,800	令和5年度 新入学学用品費 (入学前支給)	135	8,100,000
	小 計		60,402,847	小 計		52,401,411
	合 計		60,434,311	合 計		52,451,351

(14) 通学安全対策事業

児童の通学上の安全確保を図るため、遠距離その他の事由により徒歩による通学が困難な児童について、その通学に要する交通費を支給した。なお、平成29年度から次年度分の通学定期券の現物支給を行っている。

対象校 中島小学校（辻久留町・辻久留3丁目・二俣町）
佐八小学校（津村町・大倉町・佐八町）
二見浦小学校（光の街・江・松下）

(15) 奨学生関係

経済的理由により修学困難な大学・高等専門学校・高等学校・中等教育学校(後期課程)に在学する学生、生徒に対して奨学金を支給し、奨学生の学費の負担軽減を図るとともに、有用な人材の育成に努めた。

(伊勢市奨学金)

種 別	区 分		応募者数	支給者数	支給額 (月額)
高 校 等 (高専1～3年含む)	公 立		22人	20人	5,500 円
	私 立		9	6	6,000
大 学 等 (高専4.5年含む)	県 外		15	15	10,000
	県 内		15	15	8,000
計			61	56	

(16) 部活動指導員配置事業

市立中学校に部活動指導員を配置し、部活動指導体制の充実を推進するとともに、部活動を担当する教員の負担軽減・支援を行った。

令和4年度実績

配 置 校	部 活 名	配置人数	配置期間
城田中学校	女子バレーボール部	1人	4. 4. 1 ~ 5. 3. 31
城田中学校	音楽部	1人	4. 4. 1 ~ 5. 3. 31
桜浜中学校	J R C 部	1人	4. 4. 1 ~ 5. 3. 31
桜浜中学校	陸上部	1人	4. 4. 1 ~ 5. 3. 31
小俣中学校	ソフトテニス部	1人	4. 4. 1 ~ 5. 3. 31
五十鈴中学校	合唱部	1人	4. 4. 1 ~ 5. 3. 31
厚生中学校	ソフトテニス部	1人	4. 4. 1 ~ 5. 3. 31

(17) 学校水泳民間プール施設活用事業

今後の学校水泳における民間プール施設の効果的かつ経済的な活用を検討するため、令和4年度は、5校の水泳の授業を委託し、研究をすすめた。

実施校	委託業者	人数	実施期間
早修小学校	ベスパスポーツクラブ	108人	4. 6. 9 ~ 4. 7. 12
豊浜東小学校		54人	4. 6. 10 ~ 4. 7. 8
北浜小小校		86人	4. 6. 6 ~ 4. 10. 3
佐八小学校		62人	4. 9. 5 ~ 4. 9. 20
二見浦小学校	伊勢スイミングスクール	384人	4. 6. 8 ~ 4. 10. 19

(18) 小学校体育活動推進事業・中学校体育活動推進事業

小学校においては、児童の体力向上、運動に親しむ取り組みが今後より一層図られるよう、小学校教員を対象とした体育指導講習会を実施した。中学校においては、各種中学校体育大会等を実施した。また、学校部活動の活性化や競技スポーツを目指す生徒の育成を図るため、全国大会等への選手派遣費を負担した。

中学校体育連盟事業

開催日	大会名
4. 5. 14～ 5. 22	伊勢市中学校春季体育大会
4. 6. 4	伊勢市中学校春季連合陸上大会
4. 7. 2～ 7. 21	三重県中学校総合体育大会伊勢度会地区予選会
4. 10. 1～10. 9	伊勢度会中学校秋季体育大会
4. 9. 24～ 9. 25	三重県中学校陸上競技大会伊勢度会地区予選会
4. 11. 5	伊勢度会中学校駅伝競走大会

○ 人権教育関係

1 学校人権教育

すべての学校（園）で人権教育の課題を明確にし、指導体制を確立して、その推進を図った。また、子どもたち一人ひとりを大切にする教育を充実するとともに、指導内容を研究し、人権感覚の醸成を図った。

(1) 中学校区人権教育推進事業

研究指定中学校区において、人権教育の指導改善・充実についての研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校・高等学校間で子ども理解と授業交流に努めた。令和4年度は、倉田山・城田・二見・伊勢宮川中学校区を研究校区に指定し、実施した。

(2) 伊勢市子ども人権フォーラム21

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集合型ではなく、小学校・中学校に分けてのオンライン開催とした。各小学校から3～5人程度、各中学校学年別に2人の各校6人がそれぞれ参加した。小中学校とも、それぞれ2人の発表者の作文をもとに、参加したそれぞれの子どもたちが学校での人権学習や生活の場で学んだことをもとに体験等を発表し合い、互いの思いや願いを受け止め合いながら人権問題に対する認識を深めた。そしてその学びをすべての学校で還元し、人権学習をより充実させることを目指した。

(3) 人権教育担当者会議

小中学校の人権教育校区連絡会担当者や人権フォーラム担当者を対象に、人権問題についての認識を深め、それに基づいた実践力や指導力など人権教育を推進するために必要な資質の向上をめざした研修会を実施した。

	開催月日	テーマ	内 容
1回	4. 11. 8	人権フォーラムの開催に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 各校でのフォーラム事前事後指導について 個別の人権課題の学習内容について
2回	5. 2. 14	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区小中連携 1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム活用による人権教育の在り方 人権教育推進委員としてのまとめ (各校の人権教育推進委員)

(4) 人権作文集「人権の芽」の発行

小中学校で人権作文を募集し、選出した優秀作品による文集を発行することで、児童生徒が人権についてあらためて考える機会を設けた。小中学校合わせて347件の応募があり、63件を選出し、文集にまとめた。作文集は960冊作成し、各小中学校等へ配布した。

(5) 人権教育の実践研究委託

人権教育の調査・研究や研修会の開催などの事業を伊勢市人権・同和教育研究会へ委託し、人権教育の推進を図った。

○ 教育集会所関係

1 教育集会所管理運営事業

教育集会所に人権教育指導員を配置し、集会所活動に従事するとともに、地域での人権教育の推進に努めた。

伊勢市公共施設等総合管理計画・施設類型別計画（第I期）のもと、朝熊市民館の建物に朝熊教育集会所の機能を移転し、複合化した。（令和4年4月1日移転）

2 教育集会所活動（教育集会所人権教育事業）

人権が尊重されるまちづくりをめざし、文化教養を高め、地域交流を図るために、子ども人権スクールを開設した。

集会所と活動区分		回数 (回)	延べ参加人員 (人)	活 動 内 容
朝熊教育集会所	子ども人権スクール	小学生学習会	32	人権教育の推進を図るとともに、人権問題や人間関係づくりについて子どもたちがわかりやすく学べるよう、講座を実施した。
		中学生学習会	14	
		「輝きねっと」人権学習	1	
黒瀬教育集会所	子ども人権スクール	小学生学習会	24	
		「はま☆スタ」人権学習	10	

3 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町内 地	(注) 旧朝熊教育集会所解体工事	解体工事 1棟	円 6,701,200	4.10.21	4.12.2

(注) 営繕課施行

4 補償関係

場 所	工事名	補償人数	補 償 項 目	金 額
朝 熊 町 地 内	旧朝熊教育集会所解体工事	名 1	建 物	円 4,422,000

○ 保健関係

1 健康診断

幼児、児童、生徒及び職員の健康管理のため、学校保健安全法に基づく各種検診を次のとおり実施し、検診結果を文書により保護者と職員に通知した。

(1) 結核検診（児童・生徒）

区 分	検査人員	精密検査該当者
小 学 校	5,865 人	0 人
中 学 校	3,046	0
計	8,911	0

(2) 尿検査（幼児・児童・生徒）

区 分	第1次検査				第2次検査			
	検査人員	陽性者内訳			検査人員	陽性者内訳		
		蛋白	糖	潜血		蛋白	糖	潜血
小 学 校	5,860 人	21 人	3 人	23 人	40 人	1 人	0 人	4 人
中 学 校	3,027	51	3	34	82	11	0	8
幼 稚 園	108	0	0	3	3	0	0	1
計	8,995	72	6	60	125	12	0	13

(3) 眼科検診（幼児・児童・生徒）

区 分	小 学 校	中 学 校	幼 稚 園	計
被 検 診 者 数	5,830 人	2,991 人	109 人	8,930 人
疾 病 ・ 異 常 者 数	162(2.78)	57(1.91)	3(2.75)	222(2.49)

※（ ）は有所見率（％）

(4) 歯科検診（幼児・児童・生徒）

区 分	小 学 校	中 学 校	幼 稚 園	計
被 検 診 者 数	5,846 人	3,002 人	107 人	8,955 人
う 歯 な し の 者	3,178(54.36)	1,979(65.92)	89(83.18)	5,246(58.58)
う 歯 処 置 完 了 者	1,167(19.96)	483(16.09)	4(3.74)	1,654(18.47)
未 処 置 う 歯 の あ る 者	1,501(25.68)	540(17.99)	14(13.08)	2,055(22.95)

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
歯 垢 の 状 態	167(2.86) 人	187(6.23) 人	0(0.00) 人	354(3.95) 人
歯 肉 の 状 態	155(2.65)	114(3.80)	0(0.00)	269(3.00)
その他の歯の疾患	748(12.80)	302(10.06)	17(15.89)	1,067(11.92)
歯列・咬合・顎関節の異常	305(5.22)	159(5.30)	18(16.82)	482(5.38)
計	1,375(23.52)	762(25.38)	35(32.71)	2,172(24.25)

※ ()は有所見率 (%)

(5) 耳鼻咽喉科検診 (小学校1年生・4年生及び中学校1年生)

区 分	小学校	中学校	計
被 検 診 者 数	1,902 人	1,001 人	2,903 人
耳 疾 患	148(7.78)	58(5.79)	206(7.10)
鼻・副鼻腔疾患	319(16.77)	176(17.58)	495(17.05)
口腔咽喉頭疾患	49(2.58)	8(0.80)	57(1.96)
計	516(27.13)	242(24.18)	758(26.11)

※ ()は有所見率 (%)

(6) 心臓検診 (小学校1年生・4年生及び中学校1年生)

対象学年	心電図検査	要精検査	所見率
小 学 校	1,912 人	118 人	6.17 %
中 学 校	1,026	37	3.61
計	2,938	155	5.28

2 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度

学校の管理下における児童生徒等の災害に関し、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に加入し、治療費や見舞金の給付を行った。

区 分	加入人員	医療費給付件数	給付率	給付金額	発生件数
小 学 校	5,875 人	593 件	10.09 %	3,900,734 円	391 件
中 学 校	3,046	844	27.71	7,407,280	418
幼 稚 園	111	1	0.90	5,380	1
計	9,032	1,438	15.92	11,313,394	810

※給付金額のうち、障害見舞金 中学校：1件 1,500,000円

※主な傷病名 手足の挫傷・打撲・骨折等

3 学校歯科保健衛生指導事業

児童が口の健康についての正しい知識を持ち、適切な歯科保健行動を実践する力をつけるため、学校歯科医、歯科衛生士の協力のもと、学齢の課題にあわせた歯科保健指導を実施した。

対 象	内 容
小学校2年生	歯みがき指導を中心としたむし歯予防指導
小学校5年生	歯みがき指導を中心としたむし歯・歯肉炎予防指導

4 女子児童生徒寄り添い支援事業

コロナ禍や生活困窮、また家庭の事情で購入が困難になっている状況などでも安心して登校できるよう、生理用品を購入し、全小中学校の女子トイレの個室に設置した。

○ 食育推進関係

「第3次伊勢市食育推進計画」（平成30年度～令和4年度）に基づき、子どもたちが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎を作り、将来にわたって健康に生活していけるよう、家庭、地域との連携を図りつつ食育を推進した。

第3次伊勢市食育推進計画の基本方針

- ① ライフステージに応じた食育の推進
- ② 健康寿命の延伸を目指した食育の推進
- ③ 共食を通じた食育の推進
- ④ 伝統的食文化の継承

1 学校における食育の実施

伊勢市食育推進計画に基づき「全小中学校で、栄養教諭・臨時学校栄養職員の専門性を生かした食育の推進を図る」「各学校がこれまで行ってきた特色ある食に関する指導をさらに進め、食に関する指導の充実を図る」ために、それぞれにおいて、地域の人材を活用した食に関する指導、地域の食に関する文化や環境を生かした体験活動、地場産物を効果的に活用した指導等、子どもの実態や地域の特性を生かした取組等を実施した。

・食育担当者連絡協議会（4月、11月、2月）

栄養教諭、臨時学校栄養職員の専門性を生かした食に関する指導を一層進めるとともに、各学校における指導の充実を図るため、授業研究会の参加、実践交流等の研修を実施した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回ともZoomによるオンライン会議にて開催。

（1）学校における食育推進のための研究事業

児童が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、児童が主体的に体験活動に取り組み、地域の人とつながりながら生産者の思いを知ることを通して、食に関わる人々や食材への感謝の気持ちを育くんだり、実生活と結びついた食の学習を行ったりするなど、学校教育活動全体での推進を行った。

学 校 名	テ ー マ
明野小学校	「食」で育む健やかな心と体

（2）学校における食育推進体制整備事業

児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作り、将来にわたって健康に生活していけるよう、食事を楽しみ、栄養や食事のとり方について自ら判断

し、実施していく「食に関する自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身に付けることを目的に、以下のとおり実施した。

学 校 名	テーマ
浜郷小学校	地場産物の活用を推進するための方法
城田小学校	地域とともに育つ「きだっこ」 ～農業を営む地域を舞台に展開する学習～
小俣中学校	学校・家庭・地域の連携による食育

(3) いせっ子朝食メニューコンクール

自らの食生活に関心を持ち、望ましい食習慣を身につけられるよう、三重県教育委員会主催の「みえの地物が一番！朝食メニューコンクール」を活用し、伊勢市の地場産物を使用した作品を対象にしたコンクールも併せて実施した。

○ 新型コロナウイルス感染症関係

1 臨時特例奨学金育英事業

新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する学生・生徒に対し、臨時特例奨学金として資格の拡充及び要件緩和を行った。

(臨時特例奨学金)

種 別	区 分	応募者数	支給者数	支給額 (月額)
高 校 等 (高専1～3年含む)	公 立	55人	47人	5,500 円
	私 立	39	35	6,000
大 学 等 (高専4.5年含む)	県 外	49	42	10,000
	県 内	24	19	8,000
専修学校課程 (専門課程)	県 外	4	4	10,000
	県 内	12	10	8,000
計		183	157	

2 学校保健特別対策事業 (学校等における感染症対策等支援)

児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、各学校における新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品、3密回避、環境衛生の向上のための備品・消耗品の購入を行った。

購入品一例	アルコール消毒液、手袋、清掃用品、ワンタッチテント、ノータッチ式ディスプレイペンサ、CO2モニター、ワイヤレスマイク、サーキュレーター、空気清浄機、大型扇風機、ついたて等
-------	---------------------------------------------------------------------------------------

社 会 教 育 課

○ 社会教育関係

1 社会教育推進事業

(1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議

ア 委員数 11名

イ 会議

社会教育関係事業の実施状況についての審議や講師を招き意見交換会を実施した。

第1回 令和4年6月23日 小俣総合支所

第2回 令和4年12月1日 小俣公民館

第3回 令和5年3月16日 小俣公民館

ウ 委員研修

第53回東海北陸社会教育研究大会愛知大会に会場及びオンラインで参加した。

開催日 令和4年10月13日・14日

場 所 愛知県東海市

(2) 飯田市婦人会交流事業

婦人会の活動を通して両市の友好親善を深めるとともに、明るいまちづくり活動を全市的に推進するための相互研修として、飯田市婦人会との交流会を昭和56年度から実施している。

なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響から3年ぶりの開催となった。交流会では、情報交換や市内見学などを通して親睦を深めた。

開催日 令和4年9月29日

場 所 伊勢市生涯学習センターいせトピア、金剛證寺、朝熊山頂展望台、外宮

2 生涯学習推進事業

(1) 生涯学習講座の実施

生涯学習の学習機会と学習場所を提供するため、二見・小俣・御菌の各公民館等で、生涯学習講座を開催した。

ア 二見公民館講座

	No.	講座名	回数	受講者数	場所
前期	1	旅のイタリア語会話	10 回	10 人	二見生涯学習センター
	2	現代語で読む古事記①	5	20	〃
	3	メンズクッキング	5	7	二見公民館
	4	デコ巻き寿司（春夏編）	5	16	〃
後期	1	エドガー・アラン・ポーの「盗まれた手紙」を原書で読む	16	16	二見生涯学習センター
	2	現代語で読む古事記②〈天の岩戸ごもり～大国主神の国造り〉	5	19	〃
	3	つるし飾りとおつまみ細工を作ろう	10	10	〃

単独	1	消費者トラブル予防講座	1 回	6 人	二見公民館
	2	新春を彩る講座	2	22	二見生涯学習センター
	3	フラワーケーキと デコ巻き寿司を作ろう	1	12	二見公民館
	計	—	60	138	—

イ 小俣公民館講座

	No.	講座名	回数	受講者数	
前期	1	小俣町の遺跡から見た 伊勢市の歴史	5 回	14 人	小俣公民館
	2	イベントが楽しくなるパンづくり	5	12	小俣農村環境改善センター
	3	デコもち	5	9	小俣公民館
	4	クラフトバンド	5	10	〃
	5	マットピラティス～女性対象～	10	10	小俣農村環境改善センター
後期	1	小俣町の遺跡から見た 伊勢市の歴史（後期）	5	16	小俣公民館
	2	己書	10	10	〃
	3	クラフトバンド手芸	5	10	〃
	4	イベントが楽しくなるパンづくり	5	12	小俣農村環境改善センター
	5	マットピラティス～女性対象～	10	10	〃
	6	みんなで楽しいフラダンス （初心者）	10	7	〃
単独	1	新成人は狙われる 消費者被害予防講座	1	16	いせトピア
	2	消費者トラブル予防講座	1	14	小俣公民館
	3	新春を彩る講座	2	22	小俣農村環境改善センター
	4	フラワーケーキと デコ巻き寿司を作ろう	1	12	〃
	計	—	80	184	—

ウ 御菌公民館講座

	No.	講座名	回数	受講者数	場所
前期	1	みんよう三味線	10 回	10 人	御菌公民館
	2	野菜と果物で健康づくり	5	11	〃
	3	ボールを使って体を調整	5	10	〃
	4	ハーブとスパイス	5	5	〃
後期	1	すぐに始められる片付け	5	10	〃
	2	野菜と果物で健康づくり（秋冬編）	5	7	〃
	3	健康体操	5	10	〃
	4	デコもち	5	10	〃
単独	1	消費者トラブル予防講座	1	8	〃
	2	新春を彩る講座	2	31	〃
	3	フラワーケーキと デコ巻き寿司を作ろう	1	16	〃
	計	—	49	128	—

エ 高校連携講座

	No.	講座名	回数	受講者数	学校
前期	1	高校生によるシニアのための スマホ講座	2 回	40 人	宇治山田商業高等学校
	2	街角スマホ相談会	1	3	宇治山田商業高等学校
	計	—	3	43	—

オ 民間活用講座

	No.	講座名	回数	受講者数	民間事業者
二見	1	今から、取り組もう！防災講座	3 回	9 人	明治安田生命
	2	ヘルスケア講座 (女性のための健康づくり)	1	5	〃
小俣	1	わたしと家族の「そうぞく」	3	16	〃
	2	ヘルスケア講座 (健康長寿の秘訣 長く元気にいるために)	1	13	〃
御菌	1	あなたは大丈夫？フレイル予防	2	12	〃
	2	ヘルスケア講座 (睡眠と健康の知恵袋)	1	11	〃
	3	金融経済	5	19	野村証券
	4	スマートフォンを体験してみよう	14	251	ソフトバンク
	5	ZOOMを体験しよう	4	35	〃
	計	—	34	371	—

カ オンライン対応講座

	No.	講座名	回数	形式
小俣	1	(冬講座) 体ぽかぽかバレトン	8 回	ハイブリッド型
	2	パパママとなりラボ 【保護者向け講座】	4	録画(限定)配信 4講座
	3	伊勢あったか子育て広場 【保護者向け講座】	10	録画(限定)配信 8講座
	計	—	22	—

(2) 家庭教育を支援するため、親子リフレッシュ教室に続けてパパママとなりラボ「悩みのタネを幸せのタネに」をメインテーマに家庭教育応援講座を開催した。また、親子がふれあいながら楽しめるリトミック講座+伊勢あったか子育て広場、バレトン+絵本読み聞かせ講座を開催した。

夏休みには、幼児・小学生と保護者が参加し、親子ふれあい講座を開催した。

ア パパママとなりラボ

No.	日程	サブテーマ	受講者数	場所
1	4. 5.26	子育て応援団を増やそう！～SOSを発信しよう～	7 人	いせトピア
2	4. 7.21	子どもだって一人の人間～子どもの力を信じる～	7	〃
3	4. 9.15	自分で考える力を育もう～自尊心と自己肯定感～	1	〃
4	4.11.24	子どもは親の背中を見て育つ～感化の教育～	6	〃
計	—	—	21	—

イ リトミック講座+伊勢あったか子育て広場・バレトン講座+絵本の読み聞かせ

No.	講座名	回数	受講者数		場所
			親子		
1	親子でリトミック+伊勢あったか子育て広場	10回	64人 32組		小俣農村環境改善センター
2	Let'sバレトンwith赤ちゃん+絵本の読み聞かせ	12	61人 30組		〃
計	—	22	125人 62組		—

ウ 夏休み親子ふれあい講座

No.	内容	回数	受講者数	場所
1	紙皿ひこうき作り	1回	14人	小俣農村環境改善センター
2	くるくる万華鏡	1	24	〃
計	—	2	38	—

(3) 生涯学習活動団体調査

市内各所で生涯学習活動に取り組む団体の詳細を把握し、多様化する市民の生涯学習相談に対応できるよう調査を実施した。(回答団体数 235団体)

(4) 伊勢文化サークル協会活動への支援

ア 自主事業及び文化祭等の活動支援

生涯学習サークルの集合体である伊勢文化サークル協会の活動支援を行った。

支部名	構成員	内容	日程	場所
二見支部	21団体 237人	作品展示会	4.10.29~30	二見生涯学習センター
		芸能発表会	4.11.6	二見公民館
小俣支部	33団体 443人	作品展示会	4.10.22~23	小俣農村環境改善センター、小俣図書館
		芸能発表会	4.11.13	小俣農村環境改善センター
御菌支部	20団体 182人	作品展示会	4.11.12~13	ハートプラザみその
		芸能発表会	4.10.23	

イ 伊勢文化サークル協会設立10周年記念講演会

筒井 昭仁 氏（元三重県教育委員会社会教育主事）を迎え、記念講演会を開催した。

開催日：令和5年2月5日

場所：ハートプラザみその

参加人数：186人

3 放課後子ども教室運営事業

地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、「放課後子ども教室」を実施した。

事業実施にあたって、伊勢文化サークル協会の協力を得て、子どもたちに様々な体験・活動を提供した。

名 称 「放課後子ども教室」（伊勢市における呼称：いせ子どもチャレンジ教室）

実施講座数 19講座（受講者 連携型165人、一体型273人）

財 源 放課後子ども総合プラン実施事業費補助金

補助率（国 1 / 3、県 1 / 3）

○ 施設関係

1 公民館管理運営

社会教育及び生涯学習活動の拠点として使用されている3公民館（二見、小俣、御菌）の管理、運営を行った。

各地域にある13公民館については、地元自治会が指定管理者となり、地域の活動拠点として管理している。（指定期間：令和3年4月1日～令和7年3月31日）

（1）使用状況

ア 二見公民館

区分	使用回数	使用人数
会議室	263 回	3,001 人
第1和室	132	1,023
第2和室	41	512
視聴覚室	41	417
調理実習室	143	1,855
計	620	6,808

イ 小俣公民館

区分	使用回数	使用人数
第1会議室	384 回	8,195 人
第2会議室	285	1,110
学習室	156	1,374
2階会議室	234	1,134
3階会議室	275	287
団体室	133	419
講堂	117	1,417
計	1,584	13,936

ウ 御菌公民館

区分	使用回数	使用人数
講堂	492 回	7,919 人
学習室	186	1,298
研修室2-1	102	578
和室研修室	87	337
計	867	10,132

（2）工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町宮前地内	高畑公民館下水道接続工事	管きよ工 18.0m ます工 3か所	円 792,000	5. 1.25	5. 3.15
御菌町新開地内	伊勢市立新開公民館空調機取替工事	空調機取替一式	764,500	5. 1.30	5. 3.10

(3) 高麗広公民館

高麗広公民館においては、自然の美しさと公民館やふれあい工房を広く市民の方々に知ってもらうことを目的に、行事を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

公民館の利用状況

利用回数	延べ利用者数	主な内容
6回	88人	貸館利用

2 生涯学習センター施設管理運営

(1) 伊勢市生涯学習センター（いせトピア）

民間能力を活用し、施設の効果的で効率的な管理運営を行うため、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。指定管理者は、施設の維持管理のほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んでいる。

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(千円)
伊勢市生涯学習センター	特定非営利活動法人 まなびの広場	31. 4. 1 ～ 6. 3. 31 (5年間)	総 額 385,088
			(各年度) R1 76,028
			R2 76,725
			R3 76,725
			※R4 78,885
			R5 76,725

※令和4年度については、電気代補填2,160千円を含む。

ア 利用状況

区分		利用回数	利用人数
多目的 ホール	ホール全体	319 回	24,021 人
	舞 台のみ	49	712
	フロアのみ	124	4,325
楽 屋1		177	162
楽 屋2		133	108
学習室1		799	8,358
絵画室		324	3,355
工芸室		449	4,315
会議室1		249	1,413
調理室		196	1,648
和 室		274	1,912
学習室2		438	5,505
学習室3		566	5,808
会議室2		534	4,264
研修室1		458	17,720
研修室2		456	386
文化交流室		659	8,820
パソコン室		206	1,622
れいんぼうルーム		41	73

団体室	460 回	611 人
ふれあい広場	331	4,042
計	7,242	99,180

イ 講座の実施状況

期別	講座種別	講座数	募集人数	応募者数	受講者数
年 間 (1期～4期)	6か月講座	22 講座	511 人	680 人	527 人
	4か月講座	27	282	460	260
	パソコン講座	8	96	89	75
	短期講座	66	565	1,236	543
	子ども向け講座	43	450	951	434
	特別講座	4	65	89	54
計		170	1,969	3,505	1,893

ウ イベント事業の実施状況

開催日	行事名	内容	入場者数
4. 5. 28	第1回公開講座	講師 山村竜也 (歴史作家・時代考証家) 演題 知らなかった！時代考証家が教える、歴史のウソとホント	162 人
4. 8. 7	子ども夏まつり	工作・体験学習等	600
4. 8. 27	第2回公開講座	講師 くぼたまさと (タレント・工作伝導家) 演題 くぼたまさと工作ショー	169
4. 10. 24	名作映画鑑賞会	酔いどれ天使・天国と地獄	57
4. 10. 25	名作映画鑑賞会	わが青春に悔いなし・用心棒	59
4. 11. 26	第3回公開講座	講師 木山裕策 (歌手) 演題 「ガンが教えてくれたこと」 ～自分に向き合って見つけた夢～	125
5. 1. 8	子ども新春まつり	工作・体験学習等	487
5. 1. 28 5. 1. 29	生涯学習フェスティバル 舞台部門	成果発表会	523
5. 2. 4 5. 2. 5	生涯学習フェスティバル 展示部門	成果発表会	1,171
5. 3. 25	第4回公開講座	講師 本橋恵美 (コンディショニングコーチ) 演題 体幹トレーニング 健康増進と フィットネスから考える	101

エ 親子リフレッシュ教室

家庭教育に対する支援の一環として、就学前の親子が集い交流する場を提供するため、毎月2回木曜日に事業を実施した。

開催回数	延べ参加者数		主な内容
	保護者	子ども	
23回	235 人	297 人	リズム体操など

(2) 二見生涯学習センター

生涯学習活動の場として研修室やホール等の貸出を行っている。

施設は、市が管理を（公社）伊勢市シルバー人材センターへ委託している。

使用状況

区分	使用回数	使用人数
研修室2	207 回	2,134 人
研修室3	221	1,000
研修室4	190	996
ホール	396	5,001
計	1,014	9,131

3 学習等供用施設管理運営

各地域にある20施設について、地元自治会が指定管理者となり、地域の活動拠点として管理している。（指定期間：令和3年4月1日～令和7年3月31日、小俣北部公民館は令和4年4月1日～令和7年3月31日）

利用状況 小俣北部公民館

区分	利用回数	利用人数
集会室	255 回	2,562 人
学習室1	42	376
学習室2	47	256
学習室3	140	871
計	484	4,065

4 農村環境改善センター管理運営

生涯学習活動の場として研修室やホール等の貸出を行っている。

施設は、市が管理を（公社）伊勢市シルバー人材センターへ委託している。

(1) 使用状況 小俣農村環境改善センター

区分	使用回数	使用人数
1階会議室	338 回	2,098 人
和室	191	1,103
実習室	196	1,121
多目的ホール	802	16,988
2階会議室	183	1,127
研修室	115	1,040
計	1,825	23,477

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町本町地内	小俣農村環境改善センタートイレ改修工事	トイレ改修一式	円 913,000	4.11.14	4.12.28

5 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を確認しながら、国及び三重県等の指針等に基づき、必要となる対策を引き続き行った。

施設における感染防止対策について

消毒液及び非接触型体温計の設置、利用者の体調確認、氏名及び連絡先の把握、マスク着用・手洗い・うがい・手指消毒・共用部分の消毒及び間隔の確保等の徹底、施設職員による共用部分の定期消毒及び換気の実施等の感染防止対策を行った。

また、施設の利用ルールについて、国、県等の指針等の情報収集を行い、適宜、見直しを行った。

○ 図書館関係

1 図書館運営

(1) 図書館協議会

図書館法第14条の規定に基づき、図書館運営等について協議を行った。

ア 委員数 14名

イ 会議 第1回 令和4年7月28日 小俣総合支所
 第2回 令和4年11月18日 小俣公民館
 第3回 令和5年3月17日 小俣公民館

(2) 市立図書館の管理、運営

ア 指定管理制度の導入

伊勢市立図書館は、民間の能力を活用し、施設の効果的で効率的な管理運営を行うため、伊勢図書館は平成18年4月、小俣図書館は平成21年4月から、指定管理者制度を導入している。指定管理者は、施設の管理運営及び各種行事を実施している。

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(千円)
伊勢図書館 小俣図書館	(株) 図書館流通センター	31. 4. 1 ～ 6. 3. 31 (5年間)	総額 690,817
			(各年度) R1 136,039
			R2 137,287
			R3 137,287
			※R4 142,917
			R5 137,287

※令和4年度については、電気代補填5,630千円を含む。

イ 図書館利用登録者数 (令和5年3月31日現在)

市内71,873件、市外13,391件、計85,264件

ウ 貸出人数、貸出冊数、蔵書数

区分	貸出人数	貸出冊数	蔵書数
伊勢図書館	110,962 人	378,071 冊	269,747 冊
小俣図書館	59,756	269,020	186,790
生涯学習センター分室	1,046	2,229	1,483
沼木分室	261	634	1,619
豊浜分室	189	463	2,000
神社分室	487	1,065	1,654
城田分室	195	487	2,493
北浜分室	190	473	2,238

浜郷分室	613 人	1,404 冊	2,209 冊
宮本分室	354	829	2,384
大湊分室	982	1,970	1,945
四郷分室	511	1,298	2,088
二見公民館分室	690	1,887	8,518
ハートプラザみその分室	1,390	3,598	4,717
市立伊勢総合病院分室※	0	0	4,535
計	177,626	663,428	494,420

※令和4年度は休室

エ 利用状況

(伊勢図書館)

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
288日	179,745人	8,806冊	24,848冊	3,971冊	1,899冊	827冊	888件
映像資料	聴覚資料	インターネット	PCコーナー	レファレンス	視聴覚室	小会議室	展示ホール
1,994件	131件	1,961件	1,682件	778件	121件	107件	8件

(小俣図書館)

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
286日	141,439人	4,943冊	12,569冊	1,532冊	1,003冊	592冊	444件
映像資料	聴覚資料	インターネット	PCコーナー	レファレンス	ホール	会議室	ギャラリー
2,853件	12件	891件	1,833件	212件	71件	104件	15件

オ 購入冊数

図書	雑誌	視聴覚資料
9,962 冊	3,426 冊	56 点

カ 主な図書館行事、施設見学受入等

(伊勢図書館)

行事名	回数	参加人数	備考
おはなし会	49 回	686 人	図書館スタッフ、ボランティア等による絵本や紙芝居のよみきかせ
上映会	11	285	視聴覚室において映画の鑑賞
子育て絵本塾	10	207	講師 紙芝居文化の会運営委員 堀川美子氏
あかちゃんえほんのじかん	12	230	図書館スタッフ、ボランティアによるあかちゃん向けの絵本や手遊びの紹介
その他	-	-	図書館まつり、図書館見学、リサイクルフェア、伊勢のもの学び等

(小俣図書館)

行事名	回数	参加人数	備考
おはなし会	22 回	277 人	図書館スタッフ、ボランティア等による絵本や紙芝居のよみきかせ
上映会	12	147	ホールまたは視聴覚室において映画の鑑賞
図書館おはなし会&工作教室	12	175	図書館スタッフによるよみきかせと工作

赤ちゃんおはなし会	12回	198人	あかちゃん向けの絵本や手遊びの紹介
その他	-	-	図書館まつり、リサイクルフェア、読書ラリー、各種講座、かるた大会等

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町本町地内	小俣図書館空調設備修繕工事	空調制御設備修繕一式	円 1,265,000	4. 9. 22	4. 10. 18

2 子ども読書活動の推進

(1) 子ども読書活動推進会議

子ども読書活動推進会議条例に基づき、伊勢市子ども読書活動推進計画に関する重要事項について審議を行い、第4次伊勢市子ども読書活動推進計画を策定した。

ア 委員数 10名

イ 会議 第1回 令和4年6月8日 小俣公民館1階 第1会議室
 第2回 令和4年8月31日 小俣公民館2階 学習室
 第3回 令和4年10月4日 小俣公民館2階 学習室
 第4回 令和5年3月9日 小俣公民館2階 学習室

(2) ブックスタート支援事業

赤ちゃんと保護者に「絵本」と「絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動。赤ちゃんと保護者が絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけをつくった。対象の赤ちゃんに絵本2冊とアドバイス集が入ったブックスタートパックを図書館と1歳6か月児健診時の会場で配付した。

(配付人数 852人)

3 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を確認しながら、国及び三重県等の指針等に基づき、必要となる対策を行った。施設における感染防止対策として、消毒液及び非接触型体温計を設置するとともに、利用者の体調確認、氏名及び連絡先の把握、マスク着用・手洗い・うがい・手指消毒・間隔の確保等の徹底、施設職員による共用部分の定期消毒及び換気実施等の感染防止対策を行った。

また、施設の利用ルールについて、国及び県、日本図書館協会等の指針について情報収集を行い、適宜、見直しを実施した。

○ 青少年育成関係

1 青少年健全育成推進事業

(1) 青少年健全育成事業

青少年問題のもつ重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民からの理解と協力を得て、次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的とし、青少年健全育成活動を実施した。

ア 青少年健全育成のための広報、啓発活動

全国及び三重県で展開される以下の強調期間に合わせ、庁舎に懸垂幕『育てよう地域ぐるみで青少年』を掲示し、関係団体と連携した啓発活動を実施した。

- ・ 青少年の非行・被害防止全国強調月間（7/1～7/31）
- ・ 青少年非行防止活動夏季強化期間（7/1～8/31）
- ・ 子ども・若者育成支援強調月間（11/1～11/30）

イ 関係機関・団体との連携

三重県子ども・福祉部少子化対策課、(公財)三重こどもわかもの育成財団、南勢志摩児童相談所、伊勢警察署と連携し、活動を行った。

ウ 青色回転灯車両による下校時の学校周辺等パトロール

小学校1年生の下校時に合わせ、青色回転灯車両にて定期的に校区のパトロールを実施した。

また、子どもたちが安心安全に外出できるようパトロールを行い、不審者対策に努めた。

(2) 伊勢市青少年問題協議会

地方青少年問題協議会法（昭和28年法律第83号）に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策のために設置された伊勢市青少年問題協議会において、青少年健全育成における活動方針等を協議した。

(3) 伊勢市青少年育成市民会議

青少年の保護及び健全な育成のため、広報・啓発及び調査研究等、青少年健全育成の推進に必要な事業を、伊勢市青少年育成市民会議に委託し、各中学校区単位で組織された青少年育成協議会と連携した地域主導型による青少年健全育成活動に取り組んだ。

ア 伊勢市青少年育成市民会議講演会の開催

青少年を取り巻くインターネット利用環境の多様化により、増加しているSNS等をめぐる問題に対する理解を深めるため、講演会を開催した。

開催日 令和4年7月23日

場所 伊勢市生涯学習センター

基調講演 こどもたちが危ない！インターネット社会の歩き方

伊勢市教育研究所ICTアドバイザー 出口 晃 氏

イ 南勢志摩地区支部研修会の開催

定住自立圏内の地域活動者などを対象とした研修会を南勢志摩地区の青少年育成市町民会議と共催で開催した。

開催日 令和4年12月10日

場所 南伊勢町町民文化会館 大ホール

基調講演 「そっと やさしく」

長島 りょうがん 氏

参加者 70人

ウ 中学校区青少年健全育成協議会との連携

各中学校区単位で組織された青少年健全育成協議会による地域に密着した青少年健全育成活動を支援した。

エ 関係団体との連携

(公財)三重こどもわかもの育成財団をはじめ、県内の市町民会議との連携を図った。特に、南勢志摩地区の市町民会議との連携を密にし、地区内の情報共有に努めた。

(4) 青少年相談センターの管理運営

青少年の非行について早期発見、早期指導及び青少年に関する相談並びに情報の収集、資料の整備などを行うとともに、関係機関及び団体等との協力体制を確立し、合同活動の拠点として青少年の非行防止を図り、健全な育成に寄与することを目的に、伊勢市青少年相談センターの運営を行った。

ア 青少年相談センター運営協議会の設置

青少年相談センター業務の具体的な活動計画を協議した。

開催日 令和4年7月14日

場所 小俣公民館

イ 青少年相談センターの活動

○非行少年の早期発見と指導

・青少年指導員の委嘱

中央指導員 93人	小中高等学校教諭・女性団体・保護司 主任児童委員・青少年相談センター
地区指導員 133人	小中学校教諭・PTA・有識者

・街頭指導の実施状況

実施回数	活動人数	指導を受けた人数
367回	延べ972人	201人

○青少年に関する相談の受付及びこれに対する必要な措置

青少年やその関係者を対象に、相談員による青少年相談を実施した。内容により、関係する機関への連絡・案内・橋渡しを行った。また、平成27年度からメールによる相談も開始している。

・相談活動の実施状況

面接相談	電話相談	メール相談	合計
0件	4件	0件	4件

○有害環境浄化活動及び危険箇所点検の実施

三重県の立入調査活動として、書店・玩具店・カラオケ店・インターネットカフェ等を訪問し、有害図書や有害玩具類等の販売方法や深夜における遊技場等への入場禁止について、調査及び協力要請を行った。

○青少年の健全育成に資する機関、団体等との連携

伊勢市小中学校生徒指導協議会、南勢地区高等学校生徒指導連絡協議会と連携し、生徒指導の強化を図った。

また、伊勢警察署、南勢少年サポートセンター、南勢志摩児童相談所と連携した指導、相談業務を実施した。

○その他青少年の生活を明るくし、非行を未然に防止するために有効と認められる事業

毎月1回、青少年相談センターだより『輪』を発行し、指導活動の状況や教育委員会からの情報を青少年指導員に配付し、ホームページ上で発信した。

2 飯田市交流会実施事業

伊勢市と飯田市の小学生の代表が交流し、両市の親睦を図るとともに、次代を担うリーダーを養成することを目的に、伊勢市・飯田市小学生交流会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。

3 成人式開催事業

成人の日になみ、二十歳を迎えた成人をお祝いし励ますために、「伊勢市二十歳のつどい」を3部制により開催した。開催にあたっては、市内の各中学校区から推薦を受けた委員24人及び公募委員2人による「伊勢市二十歳のつどい実行委員会」を組織し、自ら企画・運営を行った。

開催日 令和5年1月8日

場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）

参加者数 991人（参加率87.7%）

ス ポ ー ツ 課

○ スポーツ振興関係

1 伊勢市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法第31条の規定に基づき、スポーツの推進及び各種団体の育成を図るとともに、生涯スポーツの普及・充実に努めるため設置した審議会において、「第3期伊勢市スポーツ推進計画」の進捗を管理した。

(1) 委員数 12人

(2) 開催回数 2回

(3) 内容

開催回数	開催日	審議事項
第1回	4. 7. 28	・ 第2期伊勢市スポーツ推進計画の令和3年度取組結果について ・ 第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和4年度実施計画について
第2回	5. 3. 3	・ 第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和4年度取組結果について

【参考】

第3期伊勢市スポーツ推進計画

計画期間：令和4年度～令和8年度（5年間）

目標とする姿：「ライフステージに合わせてスポーツを楽しめるまち」

～子どもから高齢者まで、だれもが自分自身のスタイルでスポーツを楽しめるまちを目指します。～

基本方針：①スポーツ活動の充実

②スポーツ関係団体の連携・強化

③スポーツ施設の利便性の向上

2 スポーツ大会等

一人でも多くの人々がスポーツに親しむ社会実現のため、生活の中に自然にスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」という姿を目指すことを目標に、生涯スポーツや競技スポーツの普及振興を図るため、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながらスポーツ大会等を開催した。

また、昭和60年から実施している「神宮奉納全日本ソフトテニス大会」は、競技運営スタッフの高齢化・人材不足により大会運営が困難となったことから、三重県ソフトテニス連盟と協議し、令和4年度より終了となった。

開催日	大会名・事業名	参加人数
4. 6. 19	ちびっこ超人選手権大会 2022	286人
4. 8. 1～10	小学生スポーツチャレンジ！	219人
4. 10. 7～14	伊勢神宮奉納社会人野球 第70回 JABA 伊勢・松阪大会	2,297人 (注1)

4. 10. 10	いせスポーツフェスティバル2022 クイズ健康ウォーキング	102 人
5. 2. 19	第 16 回美し国三重市町対抗駅伝	26 人 (注2)
5. 3. 26～28	第 34 回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	1,624 人 (注3)

(注1) ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）における参加者及び観客数

(注2) 参加に向けて伊勢市選手団を結成し、結団式を実施し、練習会を3回実施した。

(注3) 大会2日間の監督・選手の延べ数

3 総合型地域スポーツクラブ

生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が、各自のニーズに沿って気軽にスポーツ活動に参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。各クラブにおいては、手指消毒等の感染防止対策を行いながら、年間を通じて数多くのスポーツ教室等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々の参加があった。

また、平成28年度から皇學館大学と連携して実施している合同体験教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止とした。

そのほか、令和元年度から登録クラブ外の会員を含め、会員以外の方も体験として参加できるクラブ交流会事業を実施しているが、これについては5クラブの実施となった。

(会員数は令和5年1月1日現在)

名称	対象地区	設立年月日	会員数
いすずウキウキクラブ	五十鈴中学校区	平成16年 3月13日	456人
厚生総合型スポーツクラブ	厚生小学校区	平成16年 4月 7日	628
みそのスポレククラブ	御蔭中学校区	平成16年 4月18日	321
北浜はつらつクラブ	北浜小学校区	平成16年 5月16日	198
きだっこクラブ	城田中学校区	平成17年10月 9日	491
おばたスポレククラブASREC	小俣中学校区	平成18年 4月23日	458
ふたみふれ愛クラブ	二見中学校区	平成24年 2月26日	231
有緝わくわくクラブ	有緝小学校区	平成27年 4月21日	370
合 計			3,153

4 全国大会等参加激励事業

各種スポーツ大会で予選大会等を経て、全国大会に出場する個人や団体、もしくは、本市または、三重県ブロック代表等で全国大会に出場する個人や団体に激励金を支給した。(学校の部活動顧問として児童生徒を引率する者を含む)

- ・支給件数 124件
- ・支給額 4,175,000円
- ・主な大会 大学駅伝、陸上競技全国大会ほか

また、全国規模以上のスポーツ大会において、優勝またはそれに準ずる成績を収めた選手に

対し、本庁舎本館1階ロビーへ名前を掲示し、その功績を称えた。

5 伊勢市スポーツボランティア功労者に対する感謝状贈呈

スポーツ分野において、長年ボランティア活動を続け、伊勢市のスポーツ振興に寄与されている方に教育長から感謝状を贈呈した。

- ・実施日 令和4年10月10日
- ・受賞者数 6人
- ・推薦者 伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会

6 スポーツ推進委員

各地域において、スポーツ行事や教室等を開催し、地域におけるスポーツの普及や振興を図るとともに、地域住民に対し指導助言を行った。

スポーツ推進委員で構成する伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会の主催事業で、3年ぶりに開催した「ちびっこ超人選手権大会2022」及び「いせスポーツフェスティバル2022」において、運営の中心的な役割を果たし、生涯スポーツの振興に貢献した。

- ・委員数 59人

7 スポーツ少年団

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い中止となった事業もあるが、子どもたちのスポーツ活動に関する視野を拡大し、競技人口の一層の拡大を図るとともに、規律ある団活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成に寄与した。

- ・団数 37団
- ・団員数 930人（令和4年9月現在）
- ・主な事業

開催日	事業名	参加人数
4. 5. 15	スポ少フェスタ2022「リズムトレーニングのリズムジャンプに挑戦しよう」	334人
4. 12～ 5. 2	種目別交流事業（注）	587人
5. 2. 5	新年交流事業	中止
—	スポーツテスト2022	中止

（注）実施種目：バドミントン、剣道、バレーボール、野球、サッカー、複合

8 スポーツ協会

アマチュアスポーツ競技団体を統括するとともに、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚に努め、あらゆるスポーツの健全な普及振興に寄与した。

各競技団体においては、競技の普及やジュニア育成、競技力向上等のための大会や教室を開催した。

また、令和4年度において、エアロビック連盟と障がい者スポーツの推進を図るパラスポーツ協会とエアロビック協会が発足し、伊勢市スポーツ協会に加盟した。なお、パラスポーツ協会の発足については、県内初となる。

- ・加盟競技団体数 32団体

9 レクリエーション協会

生涯スポーツの充実を図るため、誰もが親しみやすく参加しやすいレクリエーション大会や教室を協会及び所属団体において開催した。

- ・所属団体数 7団体

市民ふれあいスポカルウォーク

開催日	内 容	参加人数
4. 5. 1	「磯の渡しを偲ぶ」西豊浜町、磯町 (丁塚古墳、磯神社、磯の渡し)	65人
4. 6. 12	「菖蒲を愛でる」二見町茶屋、松下 (賓日館、大江寺、蘇民の杜)	117人
4. 9. 11	「五十鈴川下流探訪」鹿海町、朝熊町 (南山古墳、朝熊神社、鏡宮神社)	95人
4. 11. 6	「一色能の郷」一色町 (渡船場跡、月の輪堤、中堤)	90人
5. 3. 5	「平家の里を訪ねて」横輪町、矢持町 (おがたまの木、久昌寺)	97人

伊勢市民ダンス&体操フェスティバル2022

開催日	開催場所	参加人数
4. 10. 23	三重県営サンアリーナ (サブアリーナ)	946人

10 インクルーシブスポーツ推進事業

令和4年度からの新規の重点事業であることから、福祉部局、伊勢市パラスポーツ協会、皇學館大学等の関係団体との連携を進め、障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツの推進を図った。

また、障がい者野球体験会を誘致し、子どもたちを対象とした合同練習や体験会を開催した。

- ・主な事業

開催日	内 容	参加人数
4. 5. 29	第1回インクルーシブスポーツフェスタ 「ボール遊び、玉入れ遊び、カラーしっぽ取り」	78人
4. 7. 31	第2回インクルーシブスポーツフェスタ 「ボッチャ、バグジー、ストラックアウトなど」	47人
4. 11. 20	ボッチャ交流大会	77人

11 野口みずき杯2022中日三重お伊勢さんマラソンの開催

三重県営サンアリーナを発着としたコースにて、伊勢市出身でアテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき氏を大会長に迎え、地域の活性化とスポーツ振興、そして健康づくりを目的とした「お伊勢さんマラソン」を3年ぶりに開催した。

大会当日は、野口みずき大会長がコースの一部を参加者と一緒に走るなど大会を大いに盛り上げた。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、ランニングの部において、スタート直前までマスクを着用し、スタートをブロック別に分けるなど、参加者にとって安全安心な大会を目指した。

また、「おもてなし」として開催していたウェルカムパーティや大会期間中に会場内の物産展やおはらい町などで使用できる「お伊勢さんチケット」の配布については中止とした。

大会参加者の募集は、伊勢市民先行エントリーについては、令和4年8月17日に開始し、一般エントリーについては、令和4年8月24日より開始した。ウォークの部、ランニングの部、バリアフリーラン合わせて8,263人の申し込みがあった。

(1) 大会概要

ア 開催日：ウォークの部、バリアフリーラン 令和4年12月3日
ランニングの部 令和4年12月4日

イ 種目：ウォークの部 約5.4km バリアフリーラン 約1.8km
ランニングの部 5キロ・ハーフマラソン

ウ コース：三重県営サンアリーナを発着地点とし、主に伊勢二見鳥羽ラインを走行する特設コース。ハーフマラソンについては、国道23号を通り「おはらい町」や「野口みずき金メダルロード」の一部であるダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）付近も走行する。

エ 定員：ウォークの部 3,000人
バリアフリーラン 80人
(車いすを使用している方や視覚、知的、発達障がいのある方等を対象)
ランニングの部 5キロ：2,500人 ハーフ：5,500人

(2) 参加申込者数（詳細）

ア 一般の部

単位：人

年代別	ランニング				ウォーク		バリアフリーラン		計
	5キロ		ハーフ		男	女	男	女	
	男	女	男	女					
10代未満	—	—	—	—	46	40	2	2	90
10代	4	7	16	7	48	65	13	10	170
20代	190	163	318	130	39	63	5	8	916
30代	231	122	478	124	66	106	9	3	1,139
40代	323	214	705	236	123	232	0	3	1,836
50代	311	259	759	304	192	372	5	2	2,204
60代	194	102	362	81	124	320	3	0	1,186
70代	79	25	82	8	112	167	1	0	474
80代以上	17	2	3	0	48	28	0	1	99
計	1,349	894	2,723	890	798	1,393	38	29	8,114
	2,243		3,613						
	5,856								

(注) ランニングの部の10代は大会当日18歳以上（高校生除く）の方

イ 公認の部

単位：人

年代別	5キロ		ハーフ		計
	男	女	男	女	
高校生	14	6	—	—	20
一般	—	—	96	33	129
計	20		129		149

ウ 都道府県別参加申込者数

<公認・一般の部（ランニングの部、ウォークの部、バリアフリーランの合計）> 単位：人

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	7	東京都	135	岐阜県	92	広島県	5	宮崎県	1
青森県	3	神奈川県	54	滋賀県	44	山口県	2	鹿児島県	1
岩手県	0	富山県	4	京都府	39	徳島県	6	沖縄県	2
宮城県	2	石川県	21	大阪府	157	香川県	1		
山形県	1	福井県	9	兵庫県	54	愛媛県	1		
茨城県	9	長野県	14	奈良県	38	高知県	3		
栃木県	10	静岡県	56	和歌山県	17	福岡県	10		
埼玉県	25	愛知県	1,712	鳥取県	6	長崎県	2	計	8,263
千葉県	36	三重県	5,674	岡山県	9	熊本県	1	うち伊勢市	2,378

○ スポーツ施設関係

1 学校体育施設開放事業

地域におけるスポーツの普及振興を図り、また、地域住民がスポーツに親しみ、交流の場となることを目的に、各スポーツ団体に学校体育施設を開放した。

学校体育施設開放の状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

学校名	施設名	件数	延利用人数
倉田山中学校	体育館	488件	5,554人
厚生中学校	体育館	371	4,795
港中学校	体育館	389	3,778
城田中学校	体育館	271	5,117
	運動場	85	1,310
五十鈴中学校	体育館	536	5,600
二見中学校	体育館	495	6,769
	運動場	41	438
小俣中学校	体育館	374	3,726
	運動場	59	1,235
	テニスコート	204	1,997
御薊中学校	体育館	307	4,267
伊勢宮川中学校	体育館	353	2,257
	運動場	37	555

桜浜中学校	体育館	529 件	6,941 人
進修小学校	体育館	107	972
	運動場	70	991
修道小学校	体育館	222	3,340
	運動場	71	2,093
有緝小学校	体育館	338	4,584
	運動場	33	742
早修小学校	体育館	193	2,546
	運動場	4	77
中島小学校	体育館	303	3,146
	運動場	105	2,000
明倫小学校	体育館	382	4,927
	運動場	109	1,491
厚生小学校	体育館	388	5,468
	運動場	114	2,319
佐八小学校	体育館	242	2,392
	運動場	67	1,524
宮山小学校	体育館	137	1,212
	運動場	47	1,016
浜郷小学校	体育館	242	4,383
	運動場	110	3,238
四郷小学校	体育館	274	3,001
	運動場	59	728
豊浜東小学校	体育館	143	1,324
	運動場	27	441
豊浜西小学校	体育館	356	3,323
北浜小学校	体育館	208	2,974
	運動場	44	1,655
東大淀小学校	体育館	135	942
城田小学校	体育館	265	2,535
	運動場	93	2,192
上野小学校	体育館	154	2,453
	運動場	18	349
小俣小学校	体育館	324	7,010
	運動場	117	5,295
明野小学校	体育館	503	8,085
	運動場	30	1,000
御菌小学校	体育館	848	15,057
	運動場	337	6,734
二見浦小学校	体育館	273	3,386
	運動場	55	1,055
みなと小学校	体育館	624	9,859
	運動場	70	894
計		12,780	183,092

2 市営体育施設管理運営

スポーツ振興のため、各種スポーツを楽しむ市民が施設を快適に利用できるよう、管理運営を行った。

市営体育施設使用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

施設名	利用日数	延利用人数
ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場） メイングラウンド	285日	54,903人
ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場） サブグラウンド	272	4,574
市営庭球場	273	32,583
市民武道館	222	2,872
北浜スポーツグラウンド	255	4,118
宮川スポーツグラウンド（A・B）（注1）	30	472
宮川スポーツグラウンド（第1～第3）（注2）	287	25,730
朝熊山麓公園ソフトボール場	59	4,146
朝熊山麓公園グラウンドゴルフ場	108	1,153
伊勢フットボールヴィレッジ（Aピッチ）	247	31,450
伊勢フットボールヴィレッジ（Bピッチ）	177	22,915
伊勢フットボールヴィレッジ（Cピッチ）	332	48,640
伊勢フットボールヴィレッジ（Dピッチ）	303	44,200
伊勢フットボールヴィレッジ（Eピッチ）天然芝	81	9,715
二見体育館	202	4,144
二見グラウンド	310	10,250
二見グラウンドミーティングセンター	85	357
二見テニスコート	328	8,945
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） アリーナ	359	67,847
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） 柔道場	352	15,280
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） 剣道場	345	14,275
大仏山公園スポーツセンター	316	31,084
大仏山公園スポーツセンター キャンプ場	19	1,450
小俣児童体育館	308	13,524
御菌B&G海洋センター体育館	306	13,446
計	—	468,073

（注1）宮川スポーツグラウンド（A・B）は、宮川橋架け替えに伴い橋脚が設置されるため、令和4年10月1日より廃止した。

（注2）宮川スポーツグラウンド（第1～第3）は、令和4年10月1日より宮川スポーツグラウンド（C～D）から名称変更した。

3 学校跡運動施設の利用

統合に伴い閉校した学校の運動施設を、その利活用又は処分を決定するまでの間の暫定的な措置として、地域の住民等で構成される団体がスポーツ、レクリエーション等に使用する場合に開放した。

学校跡運動施設利用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

施設名	施設名	日数	延利用人数
今一色小学校跡運動施設	体育館	174件	2,065人
	運動場	109	2,977
計	—	283	5,042

4 市営プール開設事業

市民の健康増進、体力の向上及びレクリエーションの振興を図るため、市営プール（やすらぎ公園プール及び御菌B&G海洋センタープール）を開設した。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和2年度・3年度の開設は中止していたため、3年ぶりの開設となった。開設にあたり、午前・午後の2部制とし各部とも入場者を100人程度に制限するほか、混雑状況を随時ホームページにより情報を提供した。また、管理員を増員して入場者の検温や手指消毒を徹底し、場内をこまめに消毒した。

（1）やすらぎ公園プール

①開設状況

- ・開設期間 令和4年7月2日～8月31日
※7月4日～8日、11日～15日、8月13日～15日は休業日
- ・営業日 47日（この内、落雷による機械点検のため営業中止 1日）

②入場者数

大人	小人	付添人	回数券利用者	合計
2,807人	3,623人	292人	1,040人	7,762人

③収入

入場料収入	ロッカー使用料	合計
2,303,200円	210,100円	2,513,300円

④委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
旭町地内	伊勢市やすらぎ公園プール運營業務委託	管理業務一式	円 13,715,900	4. 5.25	4. 9.16

（2）御菌B&G海洋センタープール

①開設状況

- ・開設期間 令和4年7月2日～8月28日
※7月4日～8日、11日～15日、18日、25日、8月1日、8日8日、13日～19日、22日～26日は休業日
- ・営業日 32日

②入場者数

市内中学生以下	市内高校生以上	市外	合計
1,767人	800人	96人	2,663人

※その他各種教室等入場者数は170人。入場者数総合計は2,833人。

③収入

入場料収入 100,160円

④委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
御菌町上條内	御菌B&G海洋センター水泳教室開催事業委託	水泳教室 10回	円 261,000	4. 5. 20	4. 8. 28
〃	御菌B&G海洋センタープール監視等業務委託	監視業務一式	5,579,902	4. 6. 3	4. 8. 28

5 市営体育施設整備

安全で快適なスポーツ施設の充実を図るため、浄化槽維持管理、エレベーター保守点検、夜間警備、運営管理、人工芝管理、除草、清掃及び備品点検等の業務委託及び各種工事を実施し、各施設の機能を維持、修復及び向上させ、適切な運営を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町内	(注) 朝熊山麓公園清掃 (その1)業務委託	除草、草刈、ゴミ清掃、 樹木枝払い・処分 一式	円 519,000 【契約額】 1,789,000 [維持課] 1,270,000 [スポーツ課] 519,000	4. 5. 2	4. 8. 10
〃	(注) 朝熊山麓公園清掃 (その3)業務委託	除草、草刈、ゴミ清掃、 樹木枝払い・処分 一式	948,000 【契約額】 2,448,000 [維持課] 1,270,000 [スポーツ課] 948,000	4. 12. 19	5. 3. 15
〃	(注) 伊勢フットボールヴェ イレッジ周辺清掃業 務委託	除草(草抜き)、草刈 (芝及び花を含む)、 ゴミ清掃一式	321,000	5. 1. 6	5. 3. 22
計	3件	—	1,788,000	—	—

(注) 維持課へ執行委任

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝熊町内 地	(注1) 伊勢フットボールヴ イレッジCDピッチ駐 車場入口舗装等改修 工事	側溝工 8.0m 舗装工 43.2㎡	円 1,210,000	4. 5.16	4. 7.14
小俣町新村 地	(注2) 小俣総合体育館非常 用発電機(消防用) 更新工事	非常用発電機取替一式	6,572,500	4. 8.26	5. 3.15
御薊町高向 地	宮川スポーツグラウ ンド設備撤去運搬工 事	撤去・運搬一式	638,600	4.12. 5	5. 1.27
楠部町内 地	(注2) 市営庭球場管理棟ト イレ改修工事	トイレ改修一式	3,499,100	4.12. 9	5. 3.15
〃	(注2) 倉田山公園野球場シ ーリング改修工事	防水改修一式	4,930,200	4.12.23	5. 2.20
〃	市営庭球場受電設備 改修工事	受電設備改修一式	1,265,000	5. 1.20	5. 3.15
小俣町新村 地	小俣総合体育館入口 不陸部分補修工事	舗装工 30.0㎡	990,000	5. 2. 8	5. 3.15
計	7件	—	19,105,400	—	—

(注1) 基盤整備課施行

(注2) 営繕課施行

6 ネーミングライツ

財源確保のため、ネーミングライツ制度を導入している。なお、令和4年度から小俣総合体育館についてもネーミングライツ制度を導入した。

(1) 伊勢市倉田山公園野球場

【愛 称】 ダイムスタジアム伊勢

【命名権者】 株式会社ダイム

【命名権料】 年額3,000,401円(税込)

【契約期間】 平成29年4月1日～令和9年3月31日(10年間)

(2) 小俣総合体育館

【愛 称】 三重電子スマイルアリーナ小俣

【命名権者】 三重電子株式会社

【命名権料】 年額1,210,000円(税込)

【契約期間】 令和5年1月1日～令和9年12月31日(5年間)

7 指定管理者管理施設

施設の設置目的に従い、施設の効用を最大限に発揮させ、スポーツ振興の増進を図るため、指

定管理者制度を導入し、管理運営を行った。特に、伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンターについては、隣接している両施設を一括して管理運営を行った。

なお、伊勢市北浜スポーツグラウンド、伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンターについては、令和4年度末で指定期間が終了するため、令和5年度の更新に向けて事務手続きを行った。

(1) 伊勢市北浜スポーツグラウンド

【導入開始】 平成25年4月1日

【指定管理者】 村松町会

【指定期間】 平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間） ※令和5年度に更新

(2) 伊勢市小俣児童体育館

【導入開始】 平成29年4月1日

【指定管理者】 明野第四自治区

【指定期間】 令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）

(3) 伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンター

【導入開始】 平成30年4月1日

【指定管理者】 株式会社 スコルチャ三重

【指定期間】 平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間） ※令和5年度に更新

8 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を確認しながら、国及び三重県等の指針等に基づき、必要となる対策を行った。

(1) 社会体育施設における感染防止対策について

消毒液及び非接触型体温計の設置、利用者の体調確認、氏名及び連絡先の把握、マスク着用・手洗い・うがい・手指消毒・共用部分の消毒及び間隔の確保等の徹底、施設職員による共用部分の定期消毒及び換気の実施等の感染防止対策を行った。

また、規模の大きいイベントが開催される市営庭球場、ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）、伊勢フットボールヴィレッジ及び三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館）では、手指消毒用オートディスペンサー及びサーモグラフィカメラ（三重電子スマイルアリーナ小俣のみ）を設置し、感染防止対策を行った。

なお、施設の利用ルールについては、国、県及びスポーツ協会等の指針等の情報収集を行い、適宜、見直しを行った。

(2) 学校体育施設の開放利用における感染防止対策について

学校の安全確保のため、学校体育施設開放の利用者に、体調確認、氏名及び連絡先の把握、マスク着用・手洗い・うがい・手指消毒・共用部分の消毒及び間隔の確保等の感染防止対策を行った。

また、対策徹底の確保を図るため、体育館に消毒液及び非接触型体温計の設置を行うと共に、市内4か所（スポーツ課・ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）・二見公民館・御菌B&G海洋センター）で屋外施設利用者に消毒液を提供した。

教 育 研 究 所

○ 研究関係

教育に関する今日的、将来的な課題について、教育研究所と学校現場が連携を図りながら、子どもたちの育成に資する研究を進めた。

1 教育研究プロジェクト

研究協力校	研 究 課 題
浜郷小学校	社会科副読本『わたしたちの伊勢市』の活用に係る実践研究 「スーパーマーケットの秘密を見つけよう」
明野幼稚園	幼稚園教育に係る実践研究 「思考力を育むための環境構成の工夫や援助の関わり方を考える」 ～人・もの・自然とのかかわりを通して～

2 資料作成研究

(1) 社会科副読本資料作成研究会

研究目的：社会科副読本『わたしたちの伊勢市』の編集

(2) 歴史資料作成研究会

研究目的：歴史教材『ふるさと伊勢』の編集

3 情報教育研究

情報教育研究会

研究目的：コンピュータの学習利用に関する総合的な研究

(パソコン・タブレット端末等ICT機器の授業活用法研究)

○ 研修関係

教職員研修講座等を開催し、教職員の資質向上を図った。

1 教職員研修講座

(1) 教職員研修講座

開催日	内 容	講 師	受講者数 【※満足度】
5月28日 (土) 14:00～16:00	子どもたちが安心できる場所 *公立幼稚園協会との連携講座	服部 美幸 (ぬくぬくらんど 代表)	37人 【100%】
7月26日 (火) 14:00～16:30	リアルとネットの交差点 - 思春期とネットについて考える - *子ども未来サポート研修会を兼ねる	岩宮 恵子 (島根大学 教授)	78人 【100%】
7月27日 (水) 14:00～16:30	【人権教育講演会】 人権教育の日常化 *第2回若手教職員研修と兼ねる	宮崎 吉博 (伊勢市社会福祉協議会 会長)	75人 【100%】

7月28日（木） 10:00～12:00 14:00～16:00	ロイロノートの操作及び 活用について	鍵本 優紀 (株式会社LoiLo 教育ICTコンサルタント) 伊勢市教育研究所情報教育係	午前・午後 合わせて 37人 【97.3%】
7月29日（金） 14:00～16:30	児童生徒理解と保護者連携 第3ステージ（充実期）	瀬戸 美奈子 (三重大学 教授)	22人 【100%】
8月1日（月） 10:00～12:00	G Suite for Education の活用	伊勢市教育研究所情報教育係 情報教育研究会	12人 【81.7%】
8月3日（水） 14:00～16:30	授業のUD化を考える －クラスみんなが 「わかる・できる」ことを目指して－ *特別支援コーディネーター及び学習 支援員・幼稚園支援員研修会を兼ねる	久木田 雅義 (洛南高等学校附属小学校 講師)	63人 【95.8%】
8月4日（木） 9:00～12:00	小学校国語の授業づくり －答えを明確にするための 発問と指導方法－	白石 範孝 (明星大学常勤 教授)	60人 【100%】
8月5日（金） 14:00～16:30	社会の変化と学校のあるべき姿 ～学校改革のプロセス～	工藤 勇一 (横浜創英中学・高等学校 理事/校長)	76人 【100%】
8月8日（月） 14:00～16:30	【特別支援教育講演会】 得意なところは伸ばし、 苦手なところは補いましょう！ －得意と苦手の神経心理学的なアプローチから－ *特別支援コーディネーター及び学習 支援員・幼稚園支援員研修会を兼ねる	志村 浩二 (浜松学院大学短期大学部 子どもの未来創造センター長・ 教授)	150人 【100%】
8月9日（火） 9:30～11:30	ICTを効果的に活用した授業づくり *第3回若手教職員研修と兼ねる *GIGAプロジェクト研修を兼ねる	楠本 誠 (文部科学省ICT教育支援アドバ イザー、松阪市教育委員会事務局 子ども支援研究センター 係長) 平野 隆史 (伊勢市立みなと小学校 教諭) 中西 瞭真 (伊勢市立厚生中学校 教諭)	48人 【97.8%】
8月18日（木） 14:00～16:30	カウンセリングの基礎 －子どもの心を引き出す話の聴き方 第1ステージ（基礎形成期）－ *第4回若手教職員研修と兼ねる	瀬戸 美奈子 (三重大学 教授)	36人 【100%】
8月19日（金） 9:00～12:00	小学校算数の授業づくり －つながりを意識してつくる算数の授業－	夏坂 哲志 (筑波大学附属小学校 副校長)	53人 【100%】

8月22日（月） 14:00～16:30	学校をカエル！ ーコロナ禍から持続可能な教育を展望するー	内田 良 (名古屋大学大学院教育 発達科学研究科 教授)	62人 【100%】
-------------------------	---------------------------------	------------------------------------	---------------

(2) 若手教員の学びを支える研修講座

開催日	内 容	講 師	受講者数 【※満足度】
6月28日（火） 15:30～16:30	第1回 「これで安心！学校事務ガイド」	伊勢市小中学校 事務の共同実施協議会	34人 【100%】
7月27日（水） 14:00～16:30	第2回 「人権教育の日常化」	宮崎 吉博 (伊勢市社会福祉協議会 会長)	29人 【100%】
8月9日（火） 9:30～11:30	第3回 「ICTを効果的に活用した授業づくり」	楠本 誠 (文部科学省ICT教育支援アド バイザー、松阪市教育委員会事 務局子ども支援研究センター 係長) 平野 隆史 (伊勢市立みなと小学校 教諭) 中西 瞭真 (伊勢市立厚生中学校 教諭)	21人 【100%】
8月18日（木） 14:00～16:30	第4回 「カウンセリングの基礎」 ー子どもの心を引き出す話の聴き方 第1ステージ（基礎形成期）ー	瀬戸 美奈子 (三重大学 教授)	23人 【100%】

※満足度…研修会後のアンケートで、満足及びやや満足と答えた人の割合

○ 子ども輝き生き生き総合推進事業

- 1 児童生徒が安心して過ごすことができる学校づくりをめざして、「いじめ」などの未然防止・早期発見と「不登校」の対応・支援のため「子どもの人間関係づくり」についての研究を行った。
- 2 全ての小中学校に非常勤講師を派遣し、研究体制の強化及びカウンセリング体制の強化を図った。
- 3 全ての小中学校において、児童生徒の状況に応じた指導を行うため、よりよい学校生活と友だちづくりのためのアンケート（WEBQU）を実施（年2回）。分析結果を活用し、学級集団の状況や個人の対人関係力の把握を行った。

○ 不登校対策子ども未来サポート総合推進事業

「子ども輝き生き生き総合推進事業」、「カウンセリングルーム総合推進事業」等関連する他の事業と連携し、児童生徒の社会的自立を目指して、不登校の対応・支援に総合的に取り組んだ。

1 伊勢市教育支援センターNEST活動状況

教育支援センターNESTでは、不登校児童生徒の社会的自立を目指した総合的な支援を行った。NEST教室を活動拠点に、相談・支援・指導を行い、土・日・祝日を除き、毎日午前8時半から午後5時まで、教育支援センターNEST指導員等（5人）が教職員及び保護者からの電話又は面談による相談に応じた。

【教育支援センターNEST相談件数（延べ件数）】

電話	来所	学校訪問	計
904	182	294	1,380

2 不登校対策子ども未来サポート研修会

不登校や不登校傾向に至った要因や背景の分析、今後の具体的な支援の方法等について、学ぶ研修会（2回）を実施し、スクールソーシャルワーカーや大学准教授より専門的な指導・助言を受け、教職員の資質向上を図った。

3 不登校・登校しぶりをともに語り考える保護者の会（ホッとLine NEST）

児童生徒と直接関わる立場の教職員や保護者が、不登校・登校しぶりについて、大学教授の専門的な助言を受けるとともに、保護者同士が互いの思いを語る機会の場を提供した。

4 学生ボランティア

学生ボランティア（メンタルフレンド）による、教育支援センターNESTでの日々の活動や各種体験活動の支援を行った。

5 スポーツ体験学習の実施（ふれあい広場）

毎週月曜日、御園B&G海洋センター体育館で、教育支援センターNEST通級児童生徒を対象に、ドッジボールやバドミントン、野球などのスポーツ体験を行った。

6 不登校の理解と対応のための保護者用資料集『ハーモニーハート』の配布

不登校はどの子どもにも起こりうるということを前提に、子どもとの接し方や学校との連携、不登校に関する新しい法律等の内容を具体的に記載した「不登校の理解と対応のための保護者用資料集『ハーモニーハート』」を新入学児童生徒の保護者に配布した。

7 相談員の配置

教職経験のある教育コンサルタント2人を配置し、学校からの相談に応じるとともに、必要に応じて保護者との面接を行うなど連携を図ることで、児童生徒、保護者及び学校の支援体制を充実させた。

8 不登校対策子ども未来サポート会議

市内の不登校児童生徒の状況を踏まえ、問題解決に必要な手立て等を検討するために、学校、学校教育課、伊勢市教育研究所の代表が集まって会議を行った。

9 不登校対策子ども未来サポート講演会

夏季研修講座で、教職員や保護者を対象に、「子ども理解」についての講座を開催し、共に学ぶ研修会をオンラインで開催した。

○ カウンセリングルーム総合推進事業

1 教育相談

土・日・祝日を除き、毎日午前8時30分から午後5時まで、電話又は面談による教育相談を実施し、教育コンサルタント3人が教育相談に応じた。

【電話相談等内容別件数】

不登校	進路	学習	いじめ	友人関係	非行	クラブ	性	特別支援	神経症・心身症	子育て・しつけ	生活一般	その他	計
件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
27	5	7	2	8	0	0	2	6	49	13	8	88	215

※主訴で集計

2 学校訪問

教育コンサルタントが小中学校を訪問し、各学校の状況の把握に努め、学校からの要請に応じて相談・指導・助言を行った。また、学校が行う生徒指導において、指導助言や情報提供を行うことで、各学校における不登校やいじめ等の問題への早期発見・早期対応を図った。

【「スマイルいせ」コンサルタント活動件数】

学校訪問 (計画訪問)	要 請 訪 問					計
	学校・学級経営相談	学級支援・特別支援	研修会講師・助言	相談・カウンセリング	その他(子育て応援課等)	
件	件	件	件	件	件	件
19	1	10	0	0	0	30

3 緊急支援員の派遣

各学校の様子及び要請に応じて緊急支援員を配置し、状況に応じた緊急的な措置を行うことにより、校内のさまざまな問題への早期対応を図った。

【緊急支援員派遣延べ日数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
	16	56	65	39	0	55	53	58	37	39	69	59	546

4 カウンセリング

悩みをもつ保護者やその家族、児童生徒を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを行った(月～金曜日・午前9時～午後5時開設)。

また、親子並行面接ができるよう、毎週月・水曜日の午後(隔週)・金曜日の午後は臨床心理士を2人体制とし、相談者の不安を解消するとともに、教育支援センターNESTへの通級や社会的自立に向けた総合的な支援ができるように努めた(相談件数:1,380件)。

5 パンフレット及び電話相談カードの配布

4月に電話相談カード、5月にパンフレットを市内小中学校の全児童・生徒、教職員等(相談カードは中学1年生のみ)に配布し、教育研究所の活動内容や相談窓口の周知を図った。

○ 情報教育

1 ICT支援員の派遣

児童生徒及び教職員の情報活用能力を高めるため、ICT支援員を派遣し、授業・校務でのICT活用の活性化を図った。

2 教育用コンピュータの整備

文部科学省のGIGAスクール構想に基づき整備した、高速大容量の無線LAN環境の整備と1人1台タブレット端末を活用し、情報教育を推進した。

タブレット端末の持ち帰り学習や、災害・感染症等による臨時休業時の子どもたちの学びの保障のために、インターネット環境がない家庭にモバイルWi-Fiルータを貸し出した。

- ・電子黒板の導入（82台）
- ・教員用タブレット端末の追加導入（150台）
- ・多目的ホール等に無線LAN環境を整備

3 情報モラル教育

インターネット掲示板やコミュニケーションツールによる子ども同士のトラブルを防ぐため、これらの危険性やトラブルに対する予防的措置のための出前講座を行った。

また、児童生徒向けだけでなく、子どもにインターネットを使わせる際の注意事項など、保護者や教職員向けの情報モラル講座を行った（情報モラル講座：47回）。

○ 情報提供

1 情報提供及び教育資料の整備

市内小中学校の研究紀要データや、国内各研究機関の研究資料の収集等、教育図書、研究資料を整備・充実するとともに、その活用を図った。

2 研究物の発刊及び広報活動

- (1)「伊勢市教育研究所要覧」
- (2)「しよほう」第31号（3月発行）
- (3)「たより」1～8号